

新型コロナウイルス感染症の影響調査 集計結果

2024年3月19日

宮城県がん診療連携協議会
がん登録部会

データ集計

宮城県立がんセンター

院内がん登録室

研究所 がん疫学・予防研究部

佐藤 真弓

金村 政輝

調査の方法

- 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、どの程度の診断・治療の遅れが生じたのかを明らかにする。

- 実施時期

2023年5月17日依頼
2023年8月31日提出期限

- 調査対象

2017～2022年診断症例（国立がん研究センターに提出した症例）

- 調査項目

右に示す29項目

- 集計・分析

年別・月別の登録数と治療開始までの日数を集計・分析（全施設合計・施設別集計）

* 部位別集計の区分は、原発部位の局在コードと形態コードを使い、全国集計と同様の方法で分類

	項目名	注
1	病院名	追加
2	診断年	追加
3	性別	
4	診断時年齢	
5	原発部位《局在コード》	
6	市町村	追加
7	病理診断《形態コード》	
8	診断日	
9	診断施設	
10	治療施設	
11	症例区分	
12	来院経路	
13	発見経緯	
14	ステージ（治療前・UICC）	追加
15	進展度（治療前）	
16	進展度（術後病理学的）	
17	ステージ（術後病理学的・UICC）	追加
18	外科的治療の有無	
19	外科的治療の施行日（自施設）	
20	鏡視下治療の有無	
21	鏡視下の施行日（自施設）	
22	内視鏡的治療の有無	
23	内視鏡的の施行日（自施設）	
24	放射線療法の有無	
25	放射線療法の施行日（自施設）	
26	化学療法の有無	
27	化学療法の施行日（自施設）	
28	内分泌療法の有無	
29	内分泌療法の施行日（自施設）	

* 今回の集計では、国立がん研究センターに提出した症例をそのまま用いており、起算日から5カ月を過ぎた治療についても除外していません。全国集計の集計方法とは異なりますのでご注意ください（2024年5月23日追記）。

収集症例数

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	総計
宮城県立がんセンター	1,907	2,001	1,983	1,993	2,032	2,095	12,011
東北大学病院	3,533	3,633	3,999	3,651	4,016	4,062	22,894
東北労災病院	1,204	1,280	1,200	1,153	1,253	1,087	7,177
仙台医療センター	1,825	1,816	1,894	1,814	1,910	1,968	11,227
東北医科薬科大学病院	1,274	1,430	1,447	1,500	1,745	1,695	9,091
大崎市民病院	1,968	1,970	2,023	1,992	2,122	2,160	12,235
石巻赤十字病院	1,975	2,047	1,976	2,061	1,959	2,092	12,110
みやぎ県南中核病院	802	882	984	857	932	1,045	5,502
総計	14,488	15,059	15,506	15,021	15,969	16,204	92,247

収集症例数と責任症例数

収集症例数

	2017～2019年 平均	2020年	2021年	2022年
症例数	15,018	15,021	15,969	16,204
前年との差	—	3	948	235
差%	—	0.02%	6.31%	1.47%

責任症例数

…自施設診断で自施設治療開始または治療継続

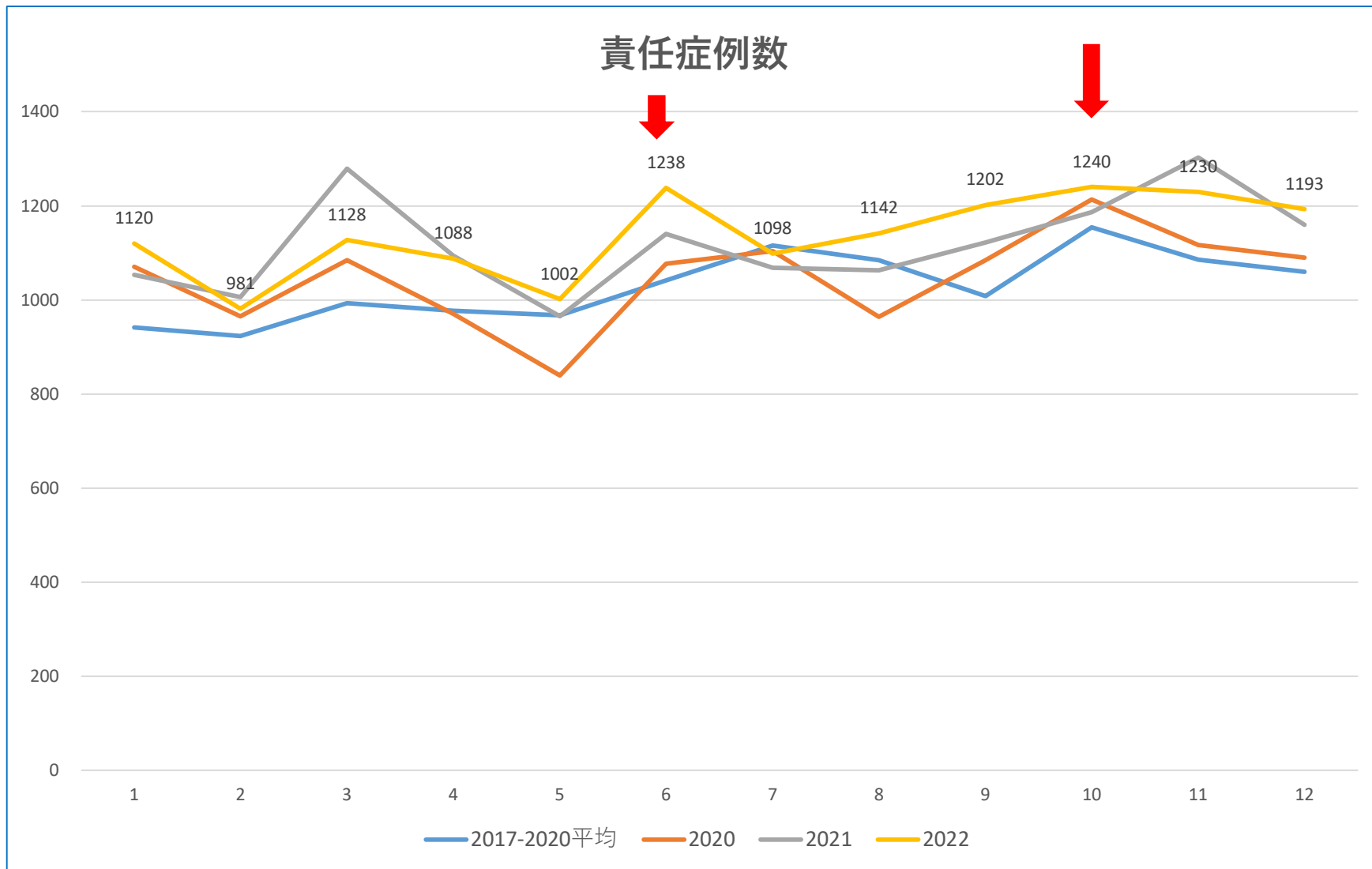
もしくは、他施設診断で自施設治療開始または治療継続の症例
以下、この責任症例を対象として集計

	2017～2019年 平均	2020年	2021年	2022年
症例数	12,353	12,580	13,440	13,662
前年との差	—	221	860	222
差%	—	1.79%	6.83%	1.65%

コロナ禍にも関わらず、がん登録の症例は増加。

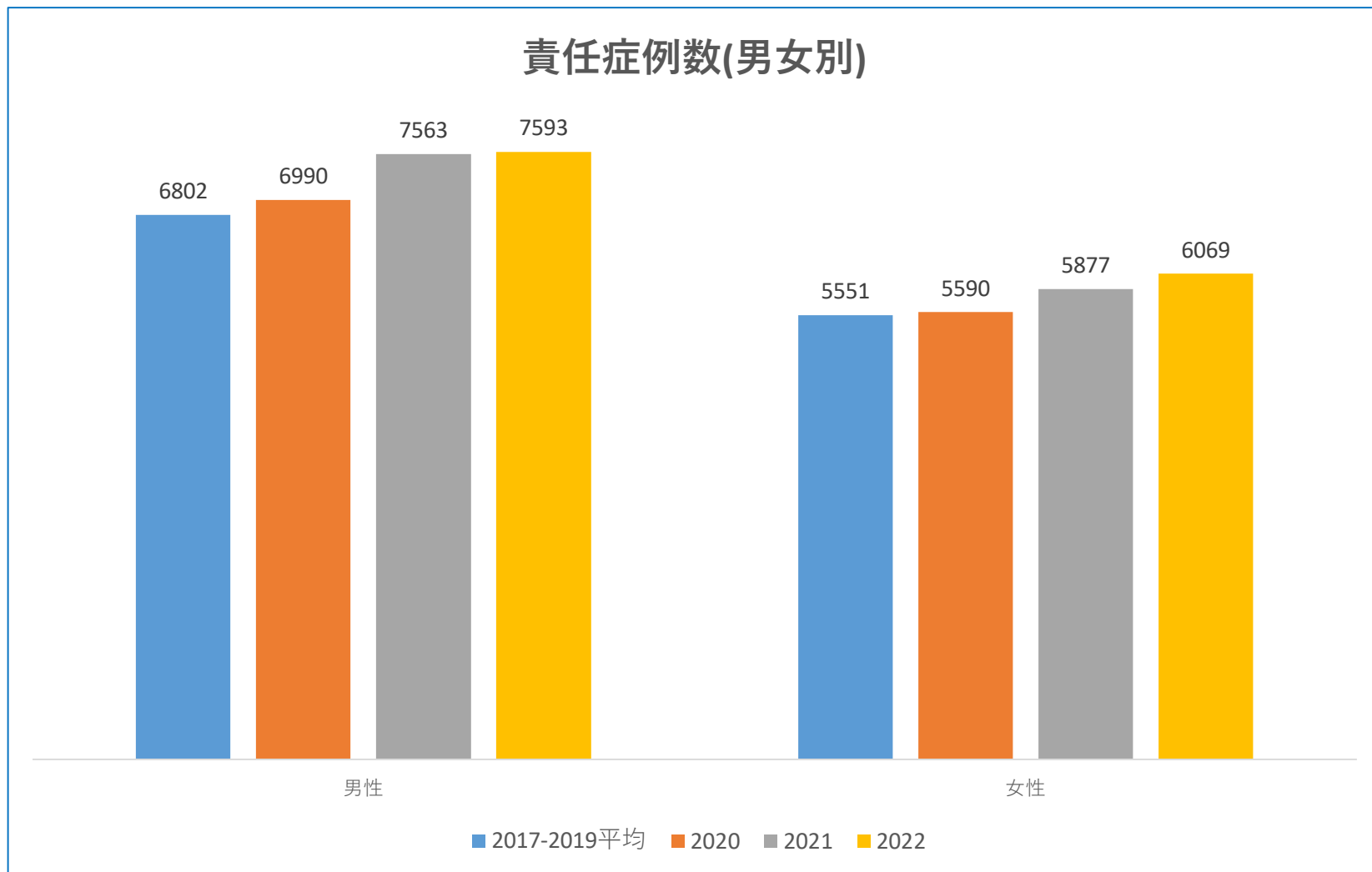
1 全施設合計・責任症例数

6月、10月の2つのピークがあり、
すべての月でコロナ前の2017-2020年よりも増加。



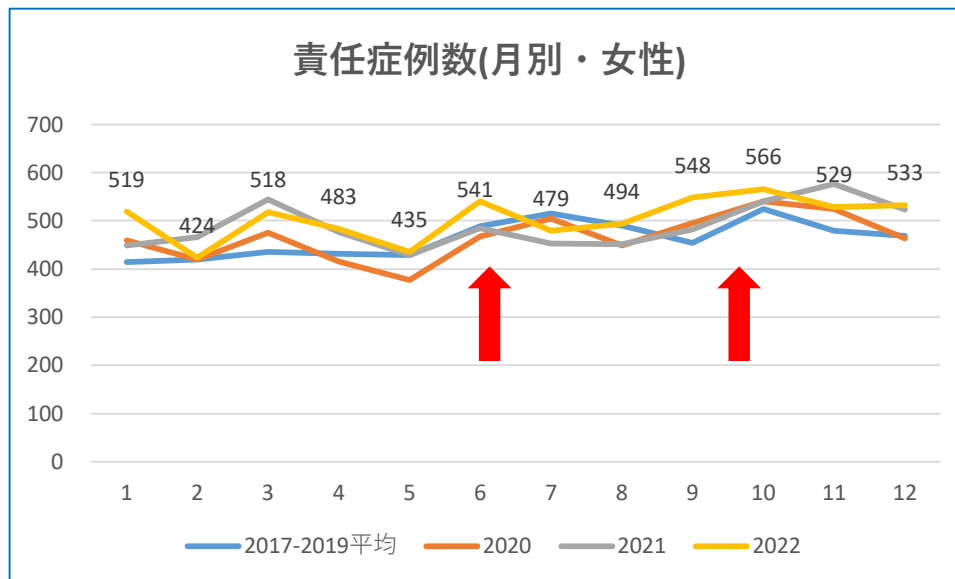
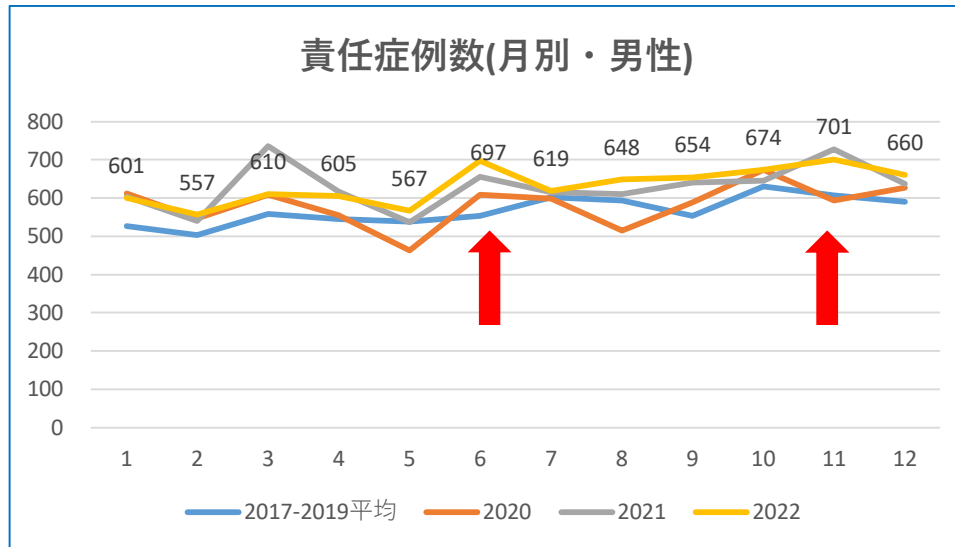
1 全施設合計・責任症例数・男女別

男性は横ばい、女性は増加。



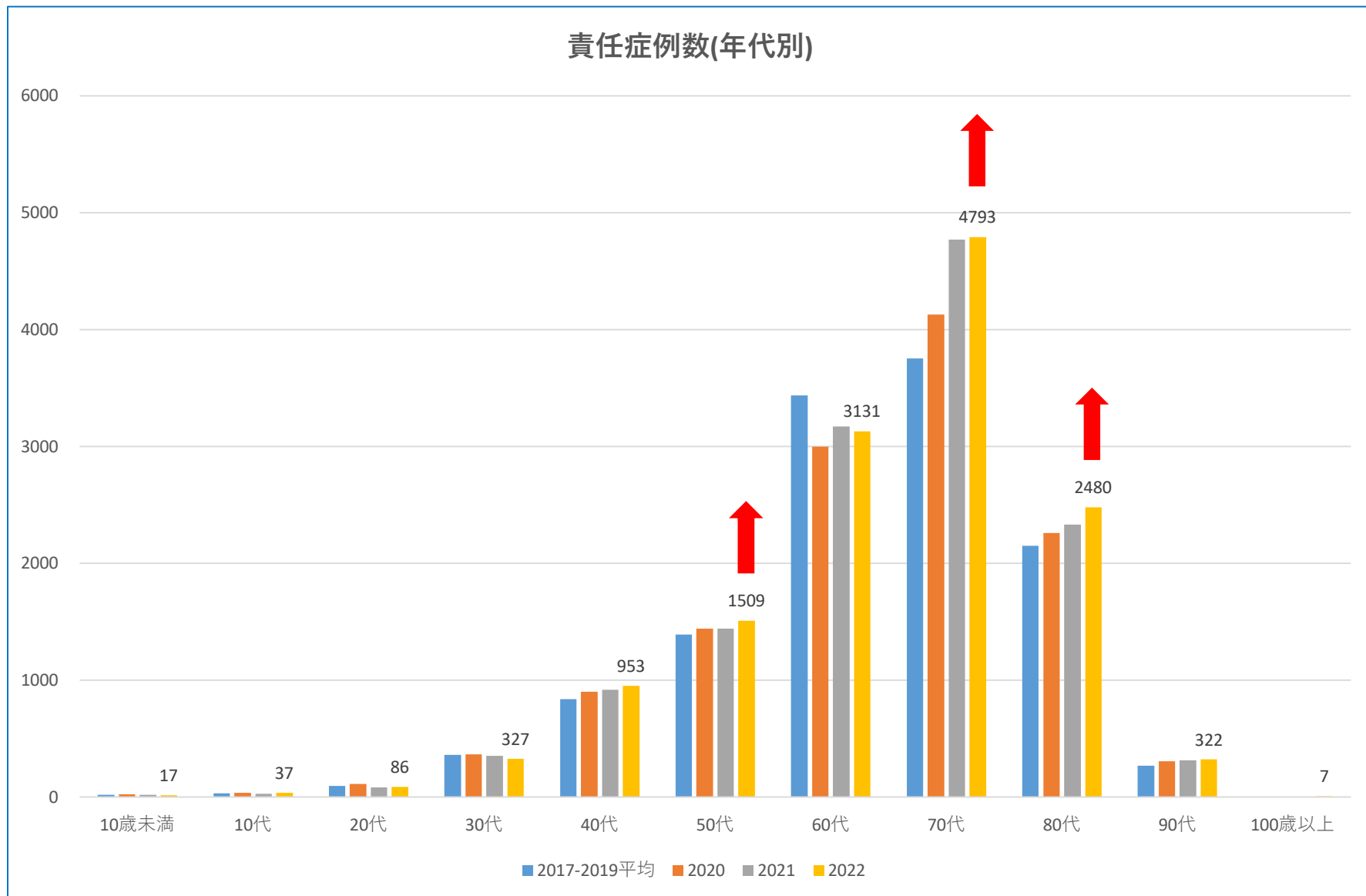
1 全施設合計・責任症例数・男女別

男女別で見ても、6月、10～11月の2つのピークがあり、多くの月でコロナ禍前の2017-2020年よりも増加。



1 全施設合計・責任症例数・年代別

年代別では、50代、70代、80代での増加が、全体の増加に寄与。

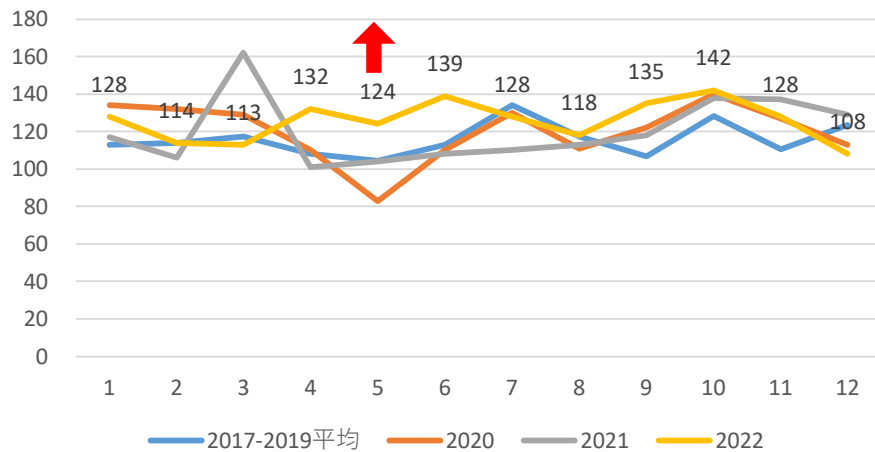


1 全施設合計・責任症例数・年代別

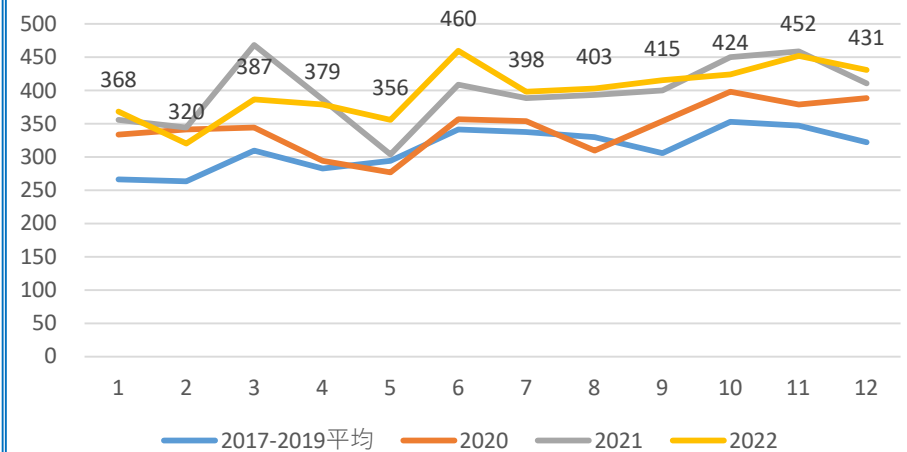
50代では、4月～6月に増加。

70代と80代では、すべての月でコロナ禍前の2017-2020年よりも増加していた。

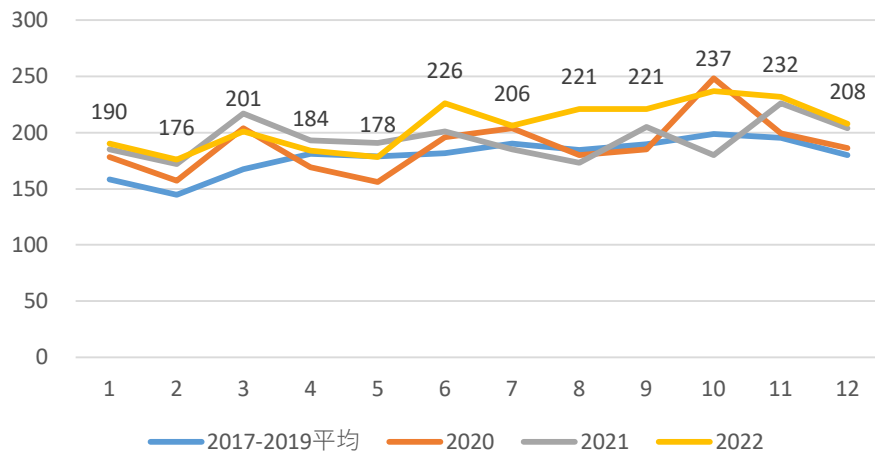
責任症例数(50代)



責任症例数(70代)



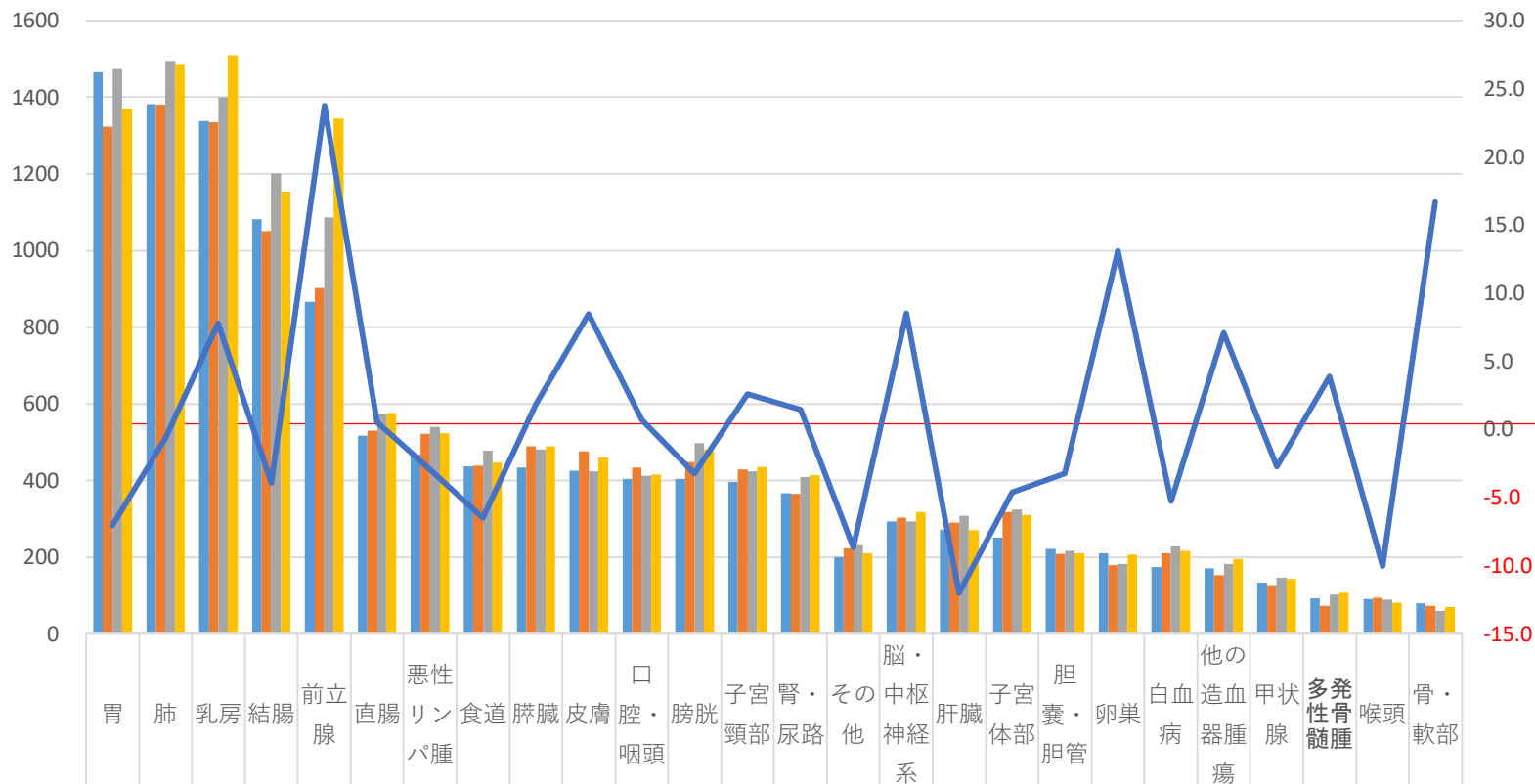
責任症例数(80代)



1 全施設合計・責任症例数・部位別

26部位中13部位で前年よりも減少し、13部位で前年よりも増加した。
 がん検診実施部位の中では、乳房と子宮頸部がわずかに増加した。

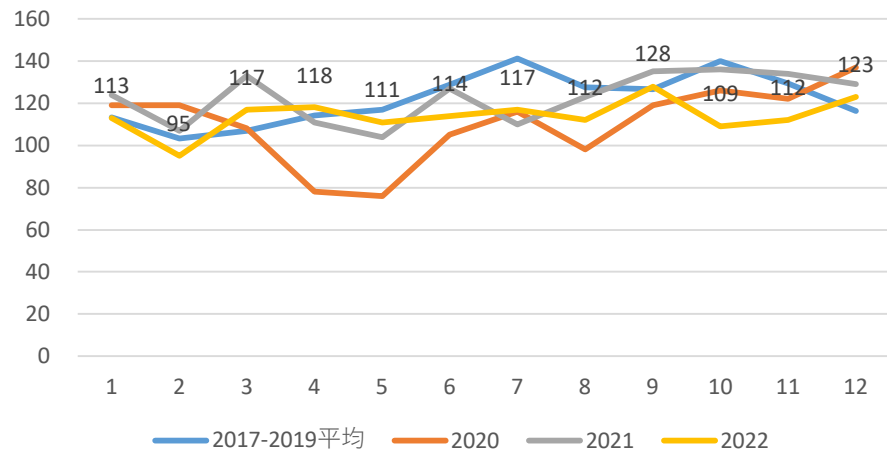
責任症例数(部位別)



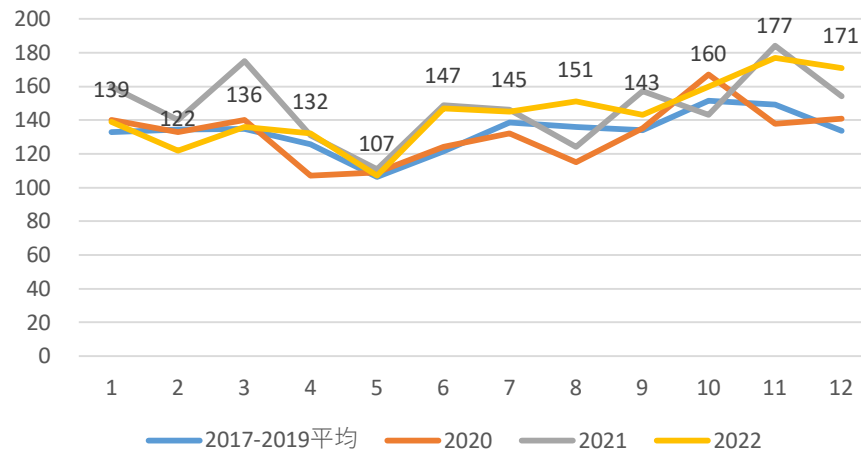
1 全施設合計・責任症例数・部位別

胃、大腸、肺は前年と比較して大きな変化はみられない。

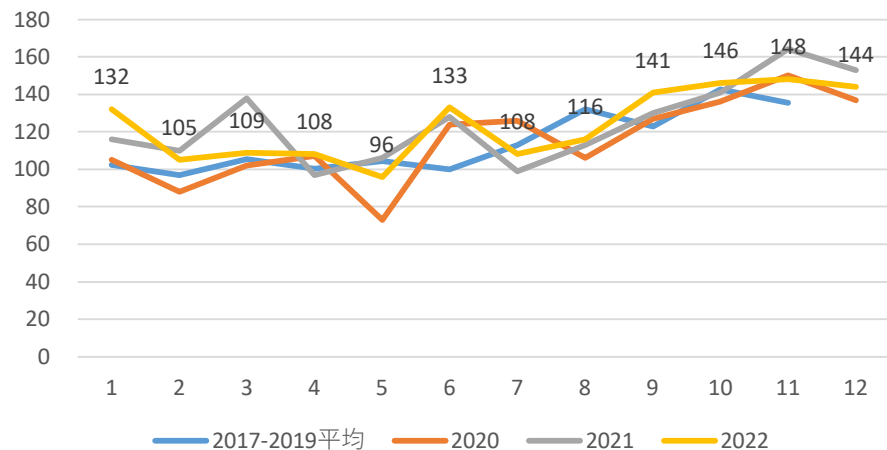
責任症例数(月別・胃)



責任症例数(月別・大腸)



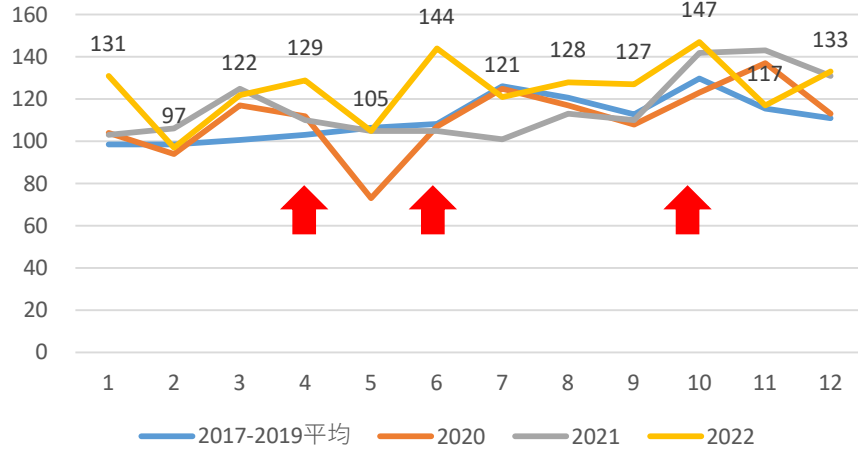
責任症例数(月別・肺)



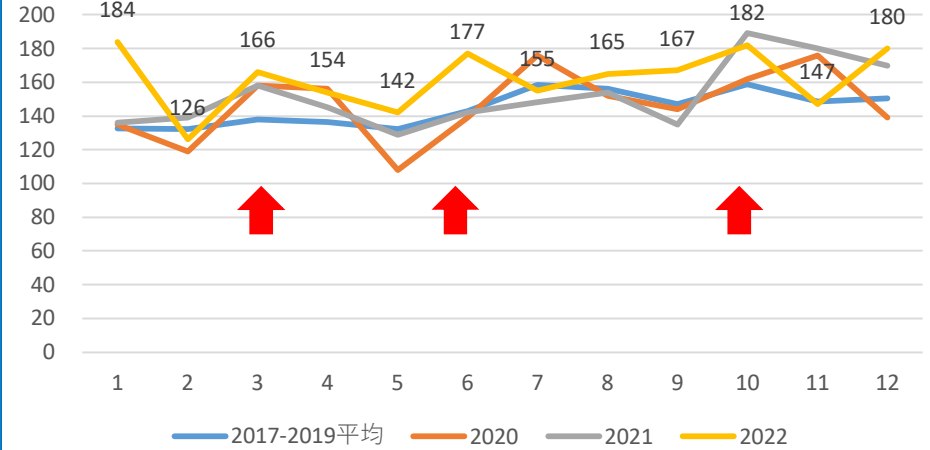
1 全施設合計・責任症例数・部位別

乳房と子宮頸部は、3月～4月、6月、10月にかけて3回のピーク。

責任症例数(月別・女性乳房)



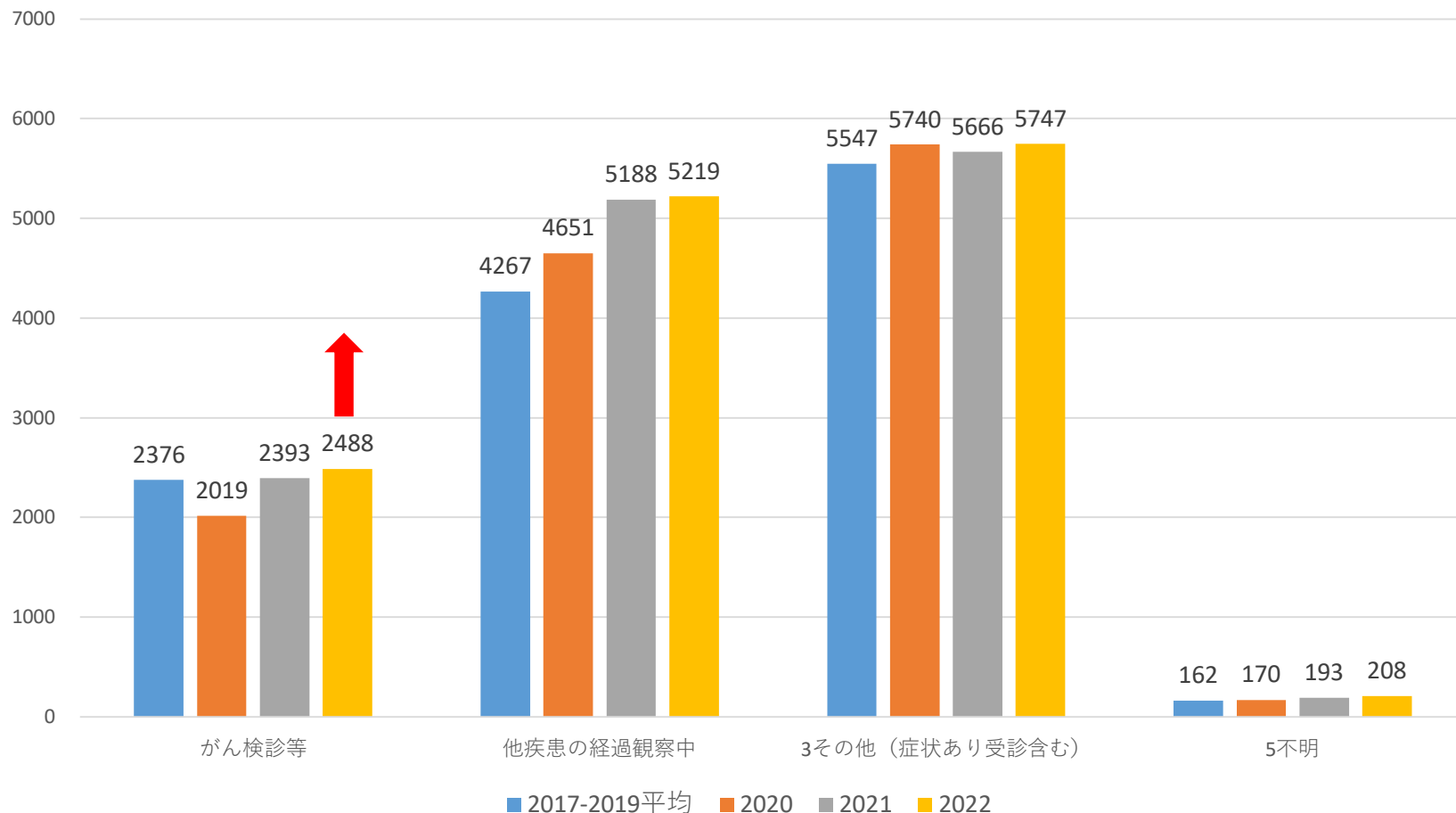
責任症例数(月別・子宮頸部)



1 全施設合計・責任症例数・発見経緯別

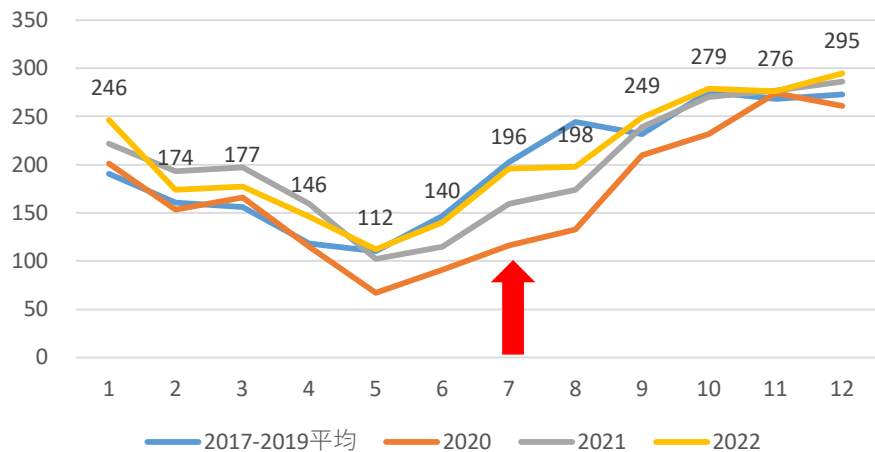
がん検診等（健康診断、人間ドックを含む）は増加し、2017-2019年を上回った。
他疾患の経過観察中の発見は、増加から横ばいへ。
その他（症状ありでの受診含む）もほぼ横ばい。

責任症例数(発見経緯別)

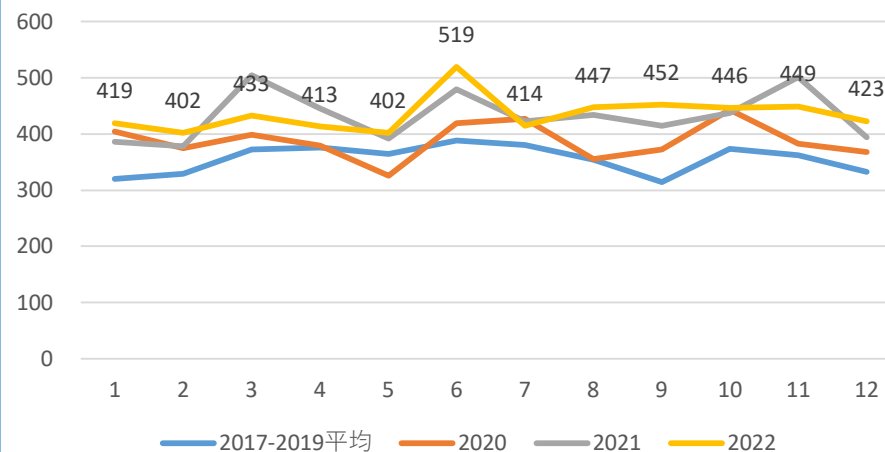


1 全施設合計・責任症例数・発見経緯別 がん検診等は、6~9月が増加。

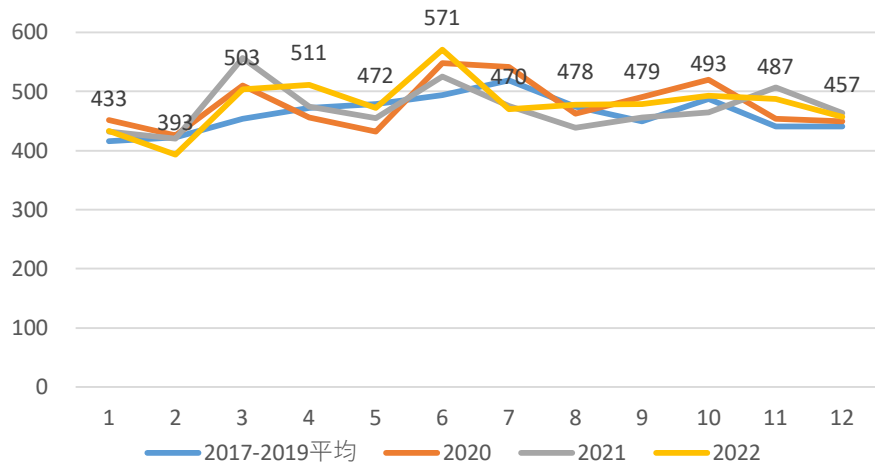
責任症例数(月別・がん検診等)



責任症例(月別・他疾患の経過観察中)

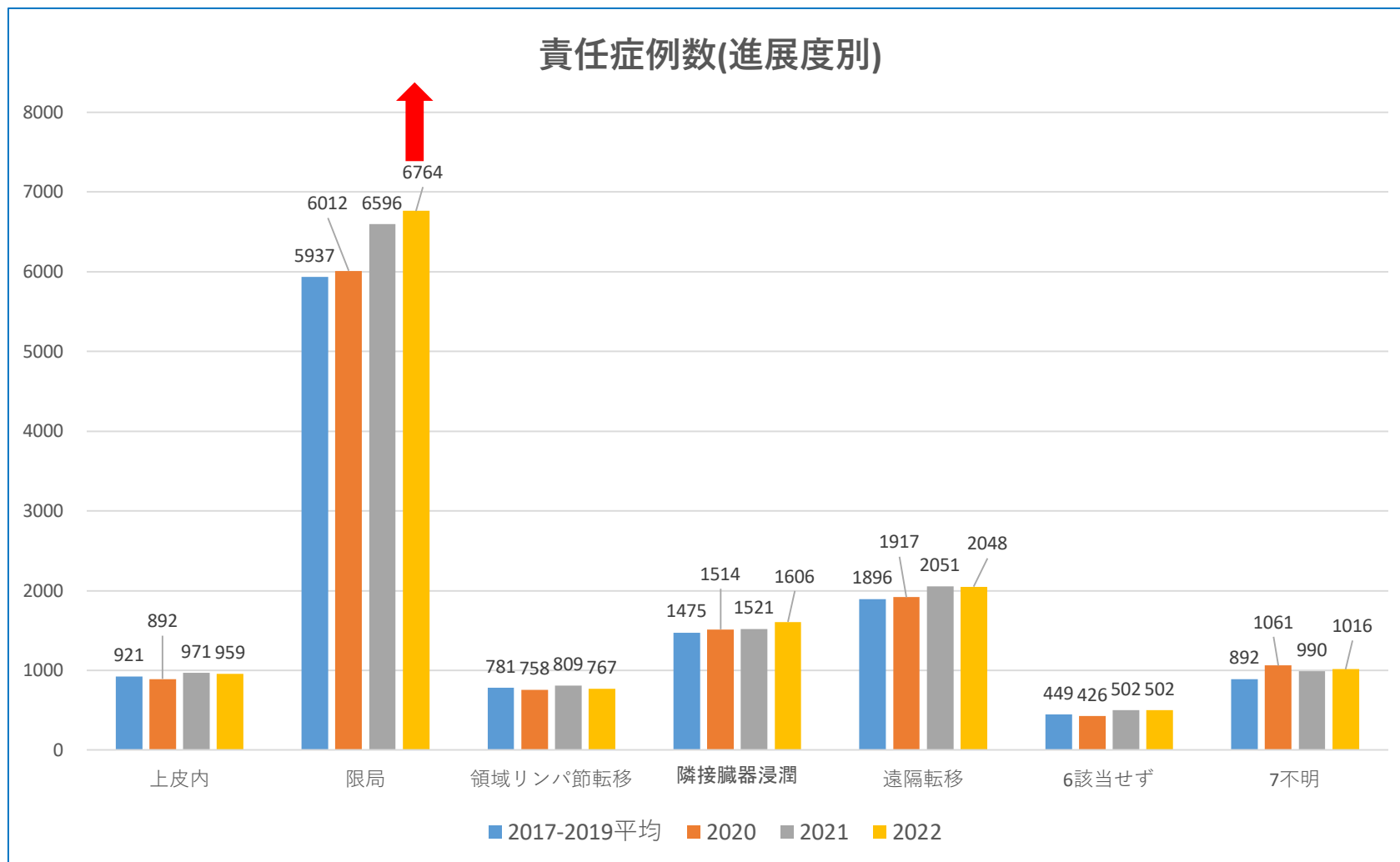


責任症例数(月別・その他(症状あり受診含む))



1 全施設合計・責任症例数・進展度別

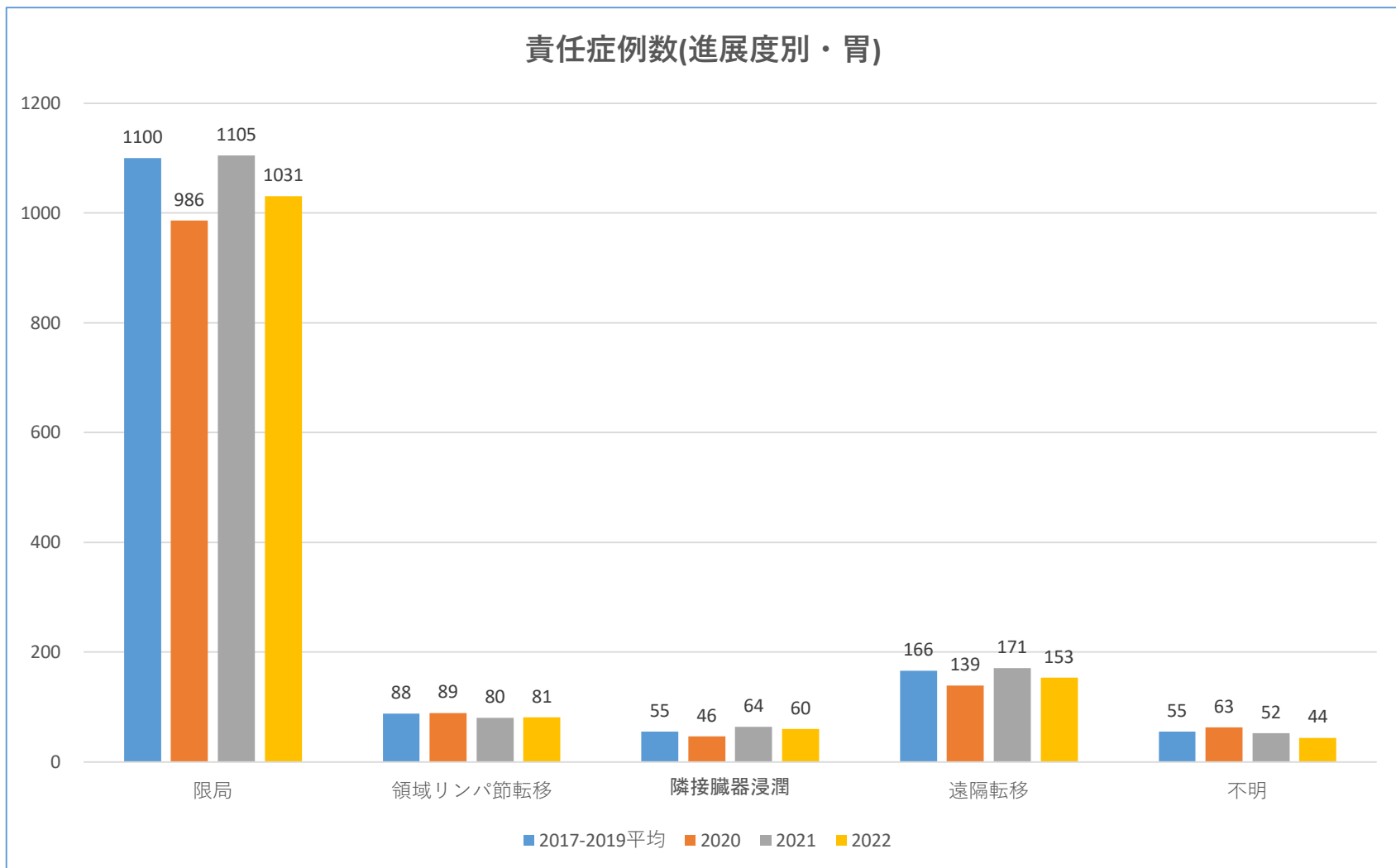
限局が増加し、他は横ばい。コロナ禍前の2017-2019年と比較しても、限局が増加。



悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の造血器腫瘍を除いて集計

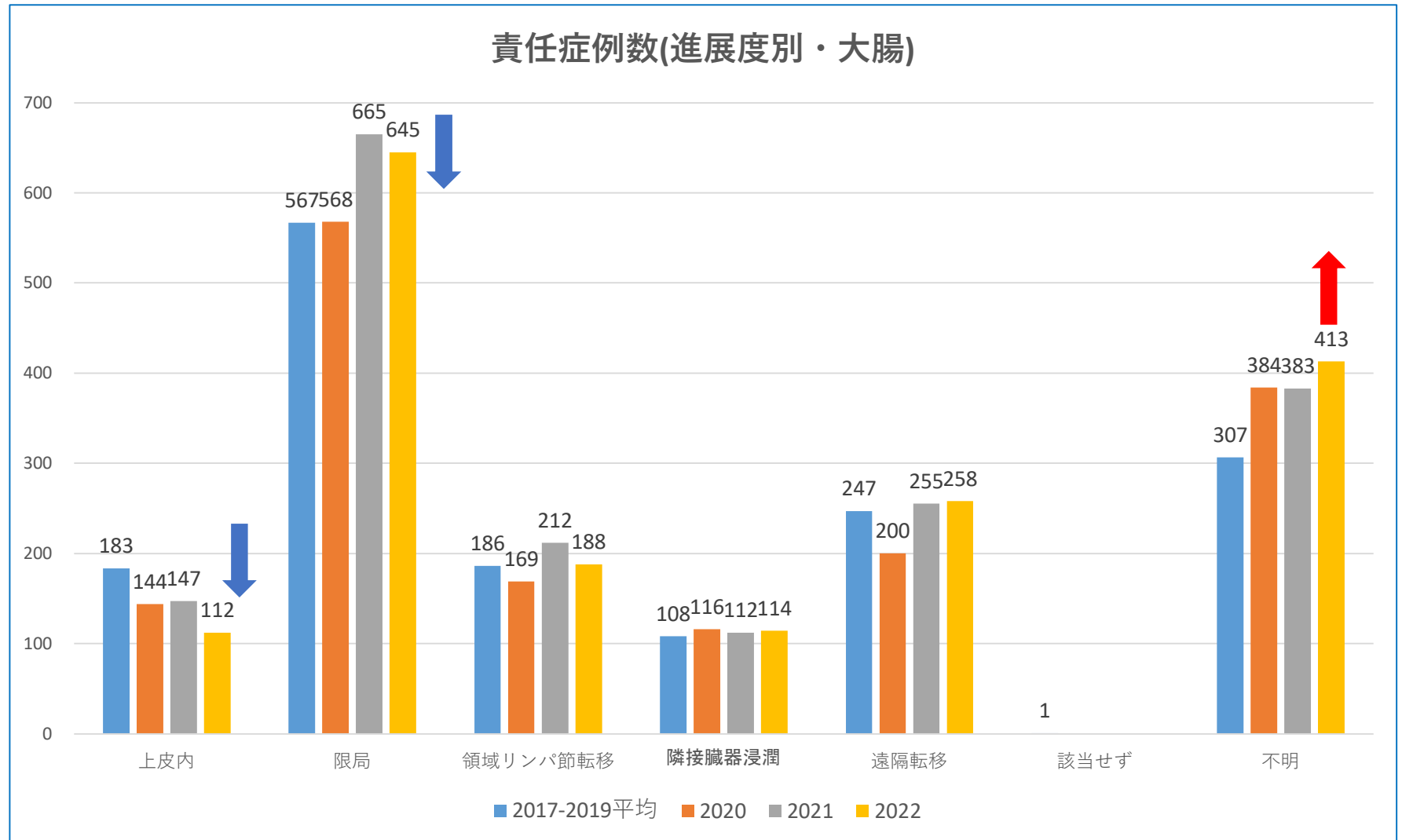
1 全施設合計・責任症例数・進展度別

がん検診実施部位のうち、胃では、ほぼすべてで横ばい。



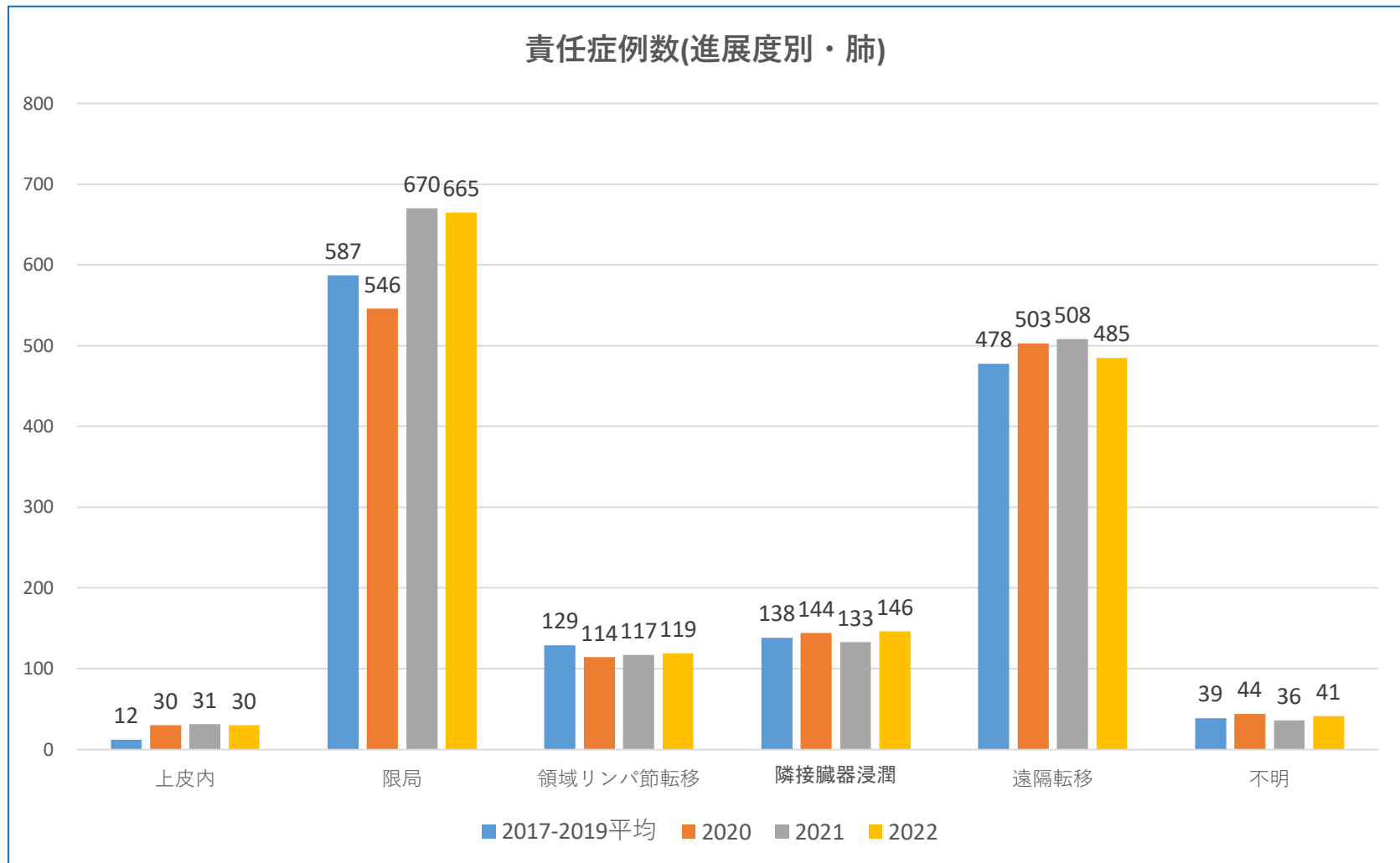
1 全施設合計・責任症例数・進展度別

大腸では、上皮内と限局がわずかに減少し、不明が増加。



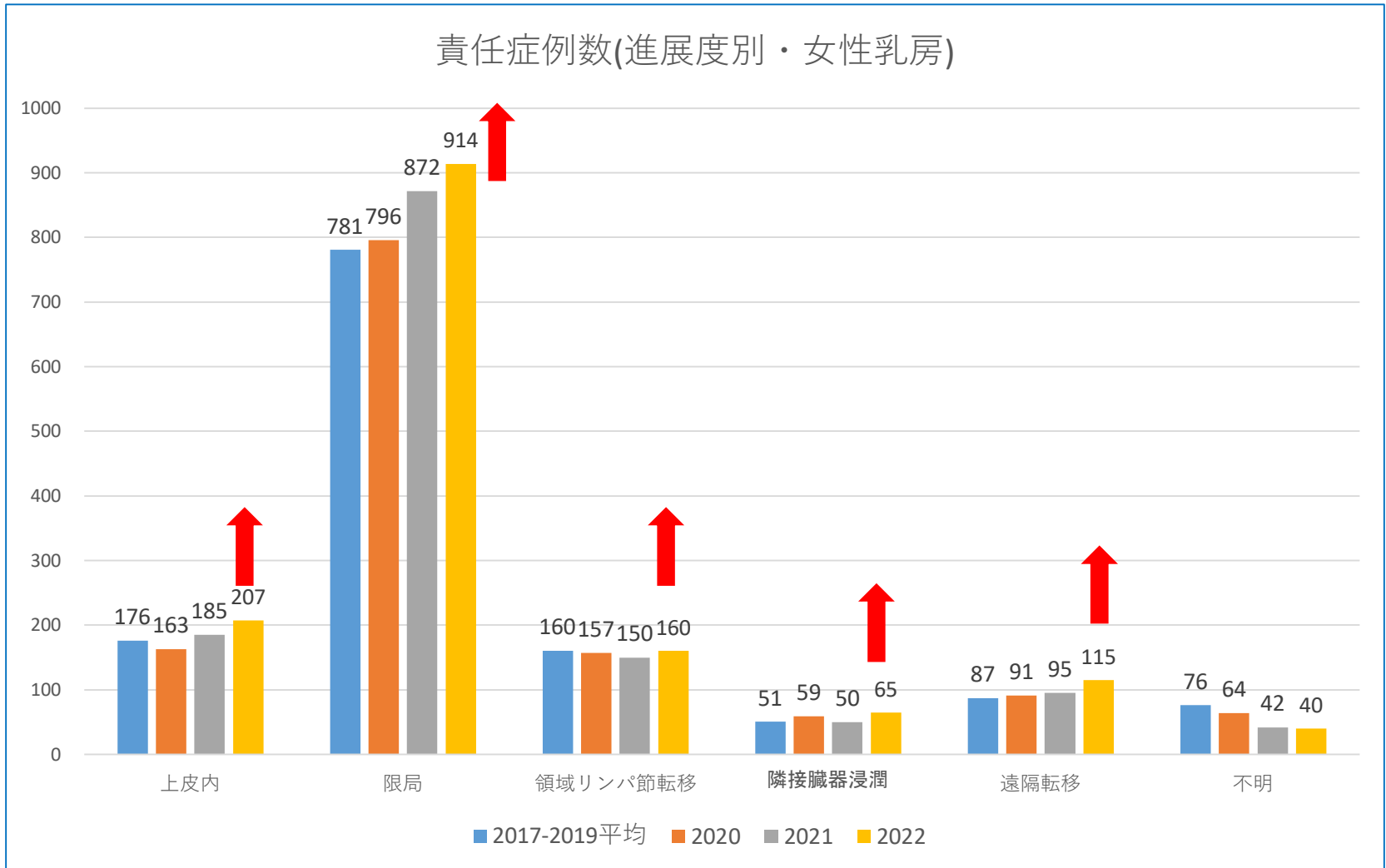
1 全施設合計・責任症例数・進展度別

肺では、ほぼすべてで横ばい。



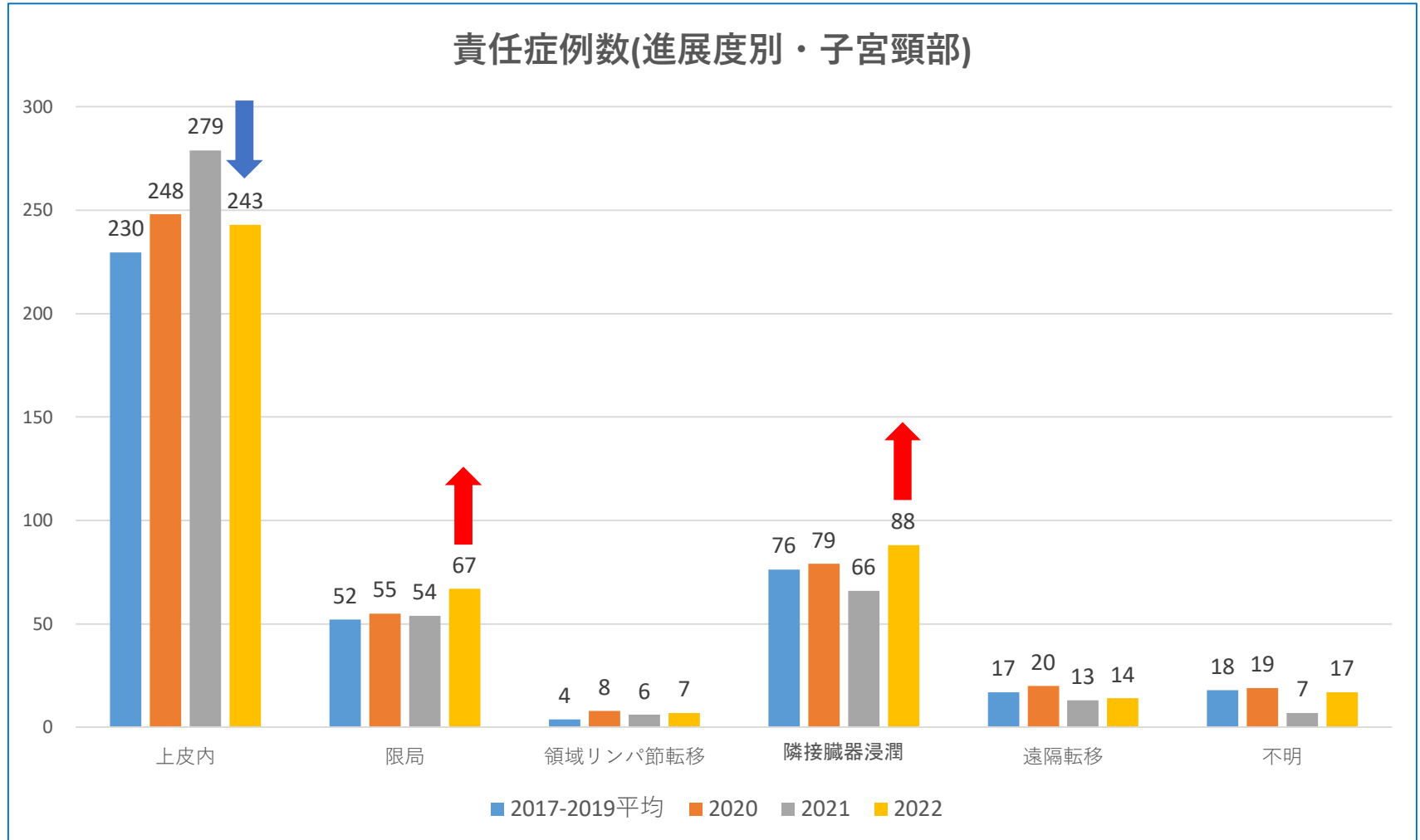
1 全施設合計・責任症例数・進展度別

女性乳房では、上皮内、限局、領域リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移のすべてで増加。



1 全施設合計・責任症例数・進展度別

子宮頸部では、上皮内が減少し、限局と隣接臓器浸潤が増加。



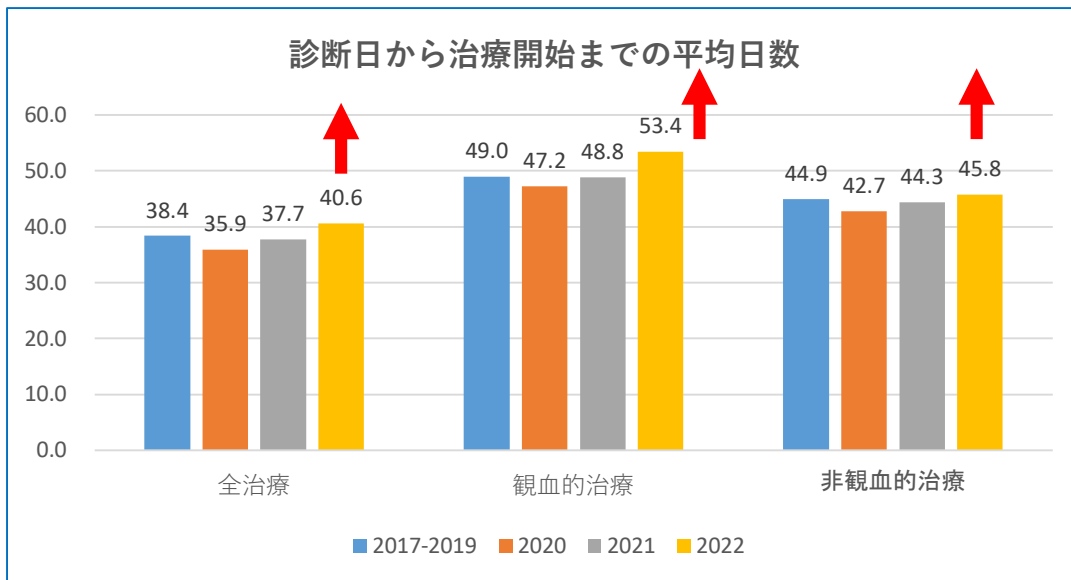
まとめ1

全施設での症例数

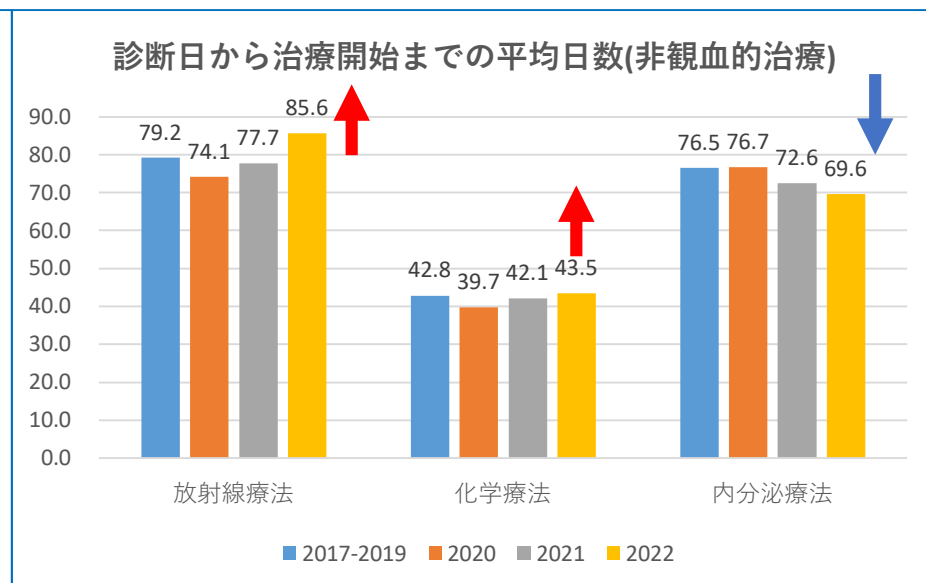
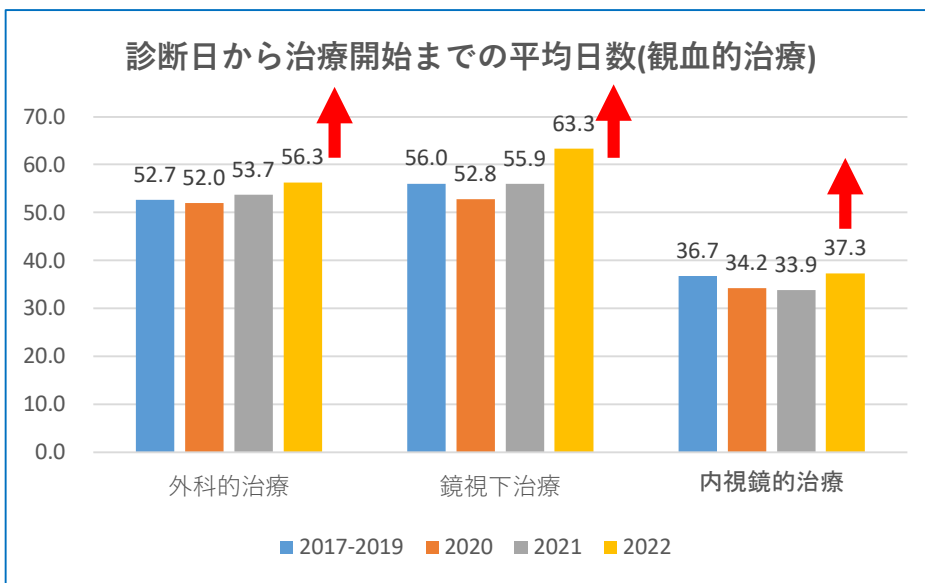
- コロナ禍にも関わらず、がん登録の症例は増加。
- 責任症例は、6月、10月の2つのピークがあり、すべての月でコロナ前の2017-2020年よりも増加。
- 男女別では、男性は横ばい、女性は増加し、年代別では、50代、70代、80代での増加が、全体の増加に寄与。
- 26部位中13部位で前年よりも減少し、13部位で前年よりも増加した。がん検診実施部位の中では、乳房と子宮頸部がわずかに増加した。
- がん検診等による発見は増加し、2017-2019年を上回った。
- 進展度別では、限局が増加し、他は横ばい。コロナ禍前の2017-2019年と比較しても、限局が増加しており、女性乳房と子宮頸部の増加が寄与していた。
- 2022年は症例数が増加していた。がん検診等による発見は増加し、がん検診実施部位の中では、乳房と子宮頸部がわずかに増加していた。これらの部位では、限局が増加していた。

2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

2020年は短縮したが、2021年、2022年は日数が増加に転じ、内分泌療法以外は増加。

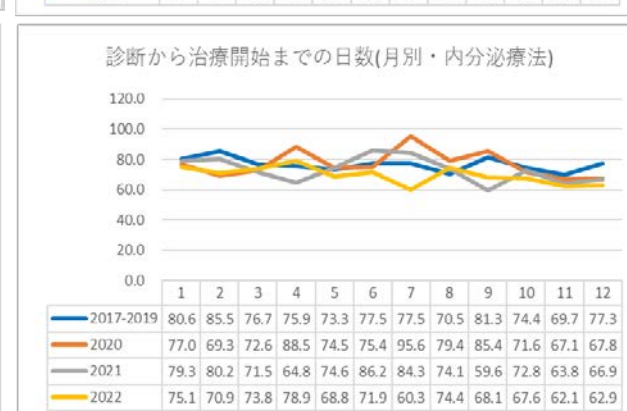
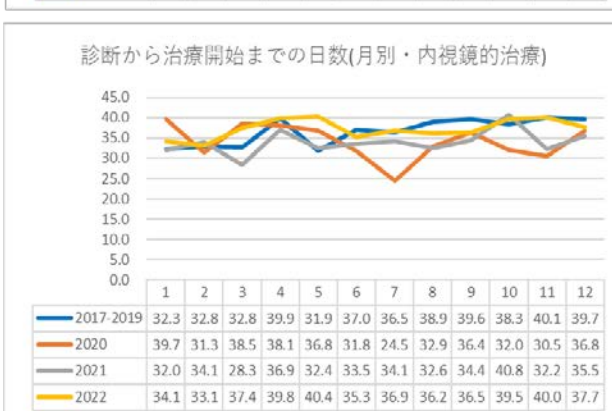
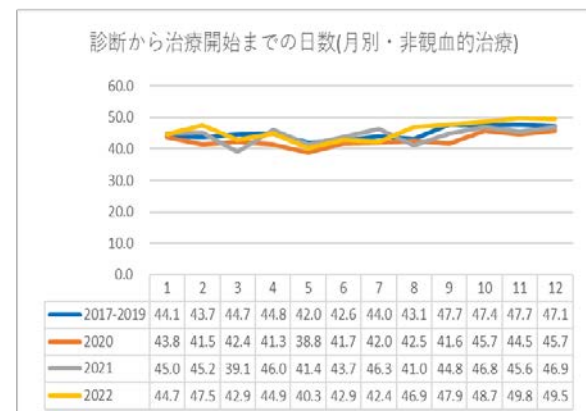
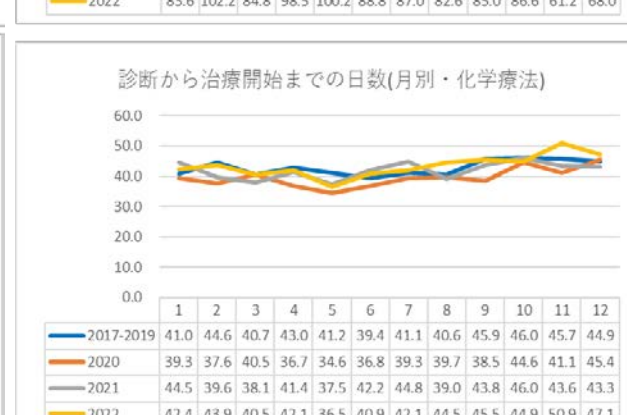
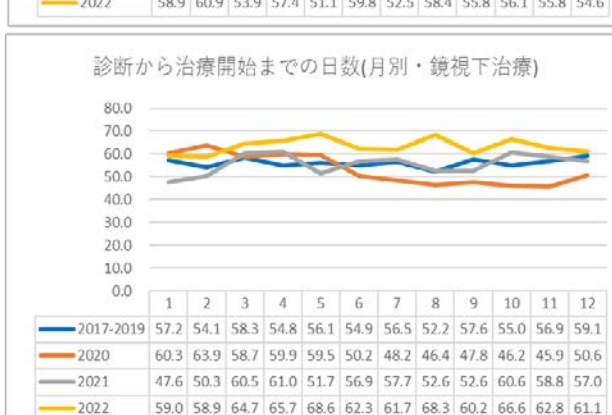
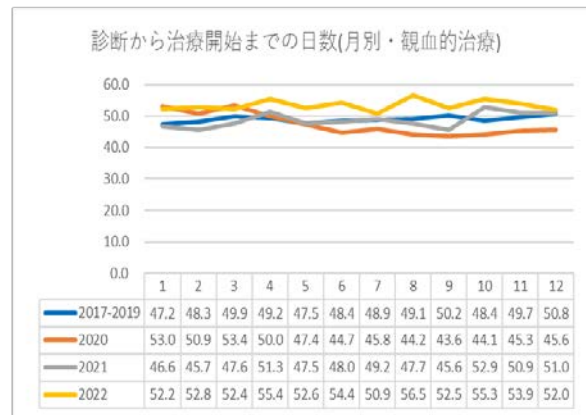
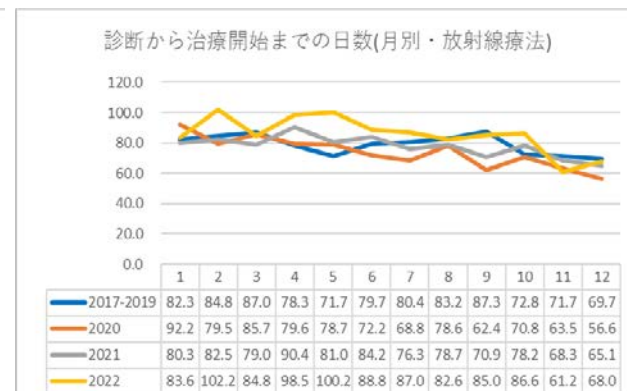
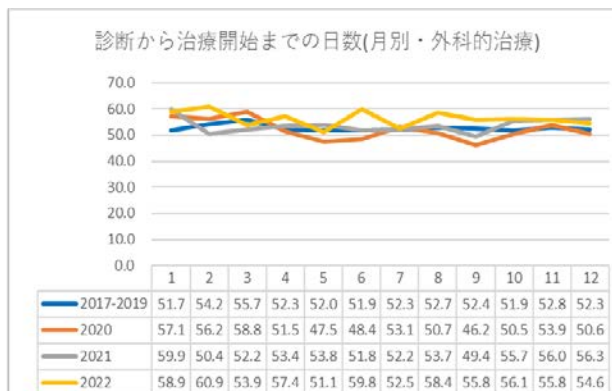
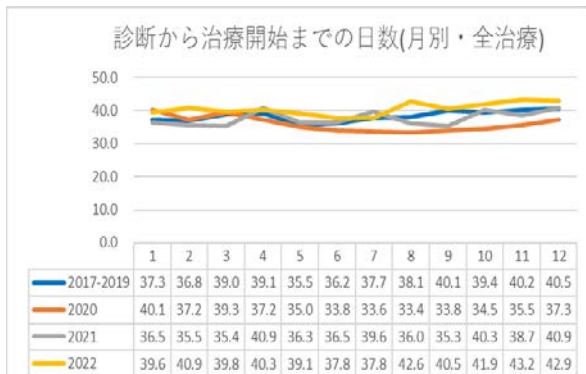


○全治療
...観血的治療または非観血的治療のいずれかを実施したもの。
○観血的治療
...外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療のいずれかを実施したもの。
○非観血的治療
...放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれかを実施したもの。



2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

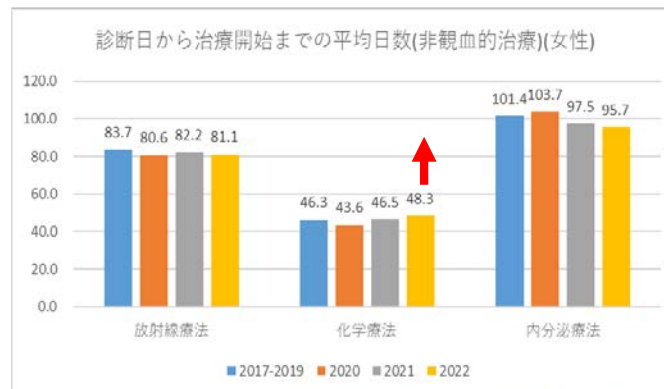
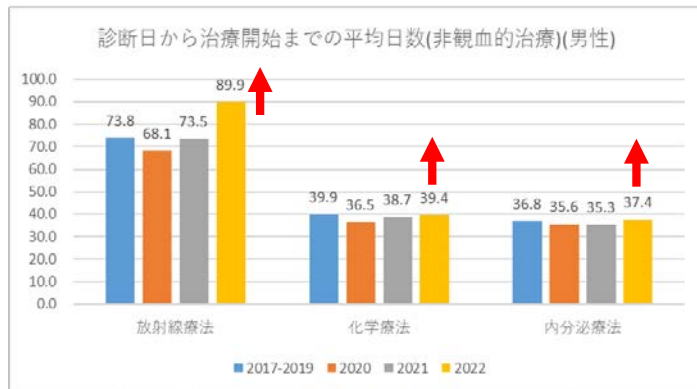
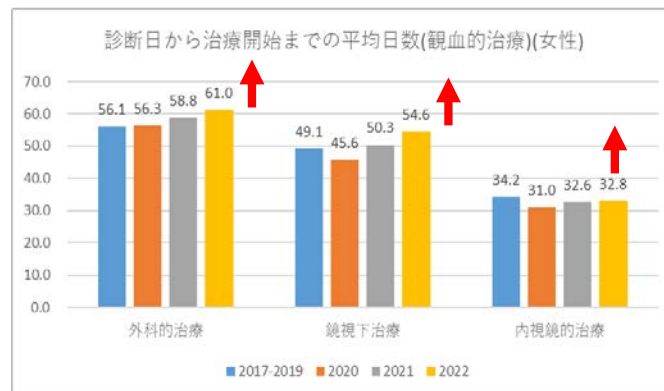
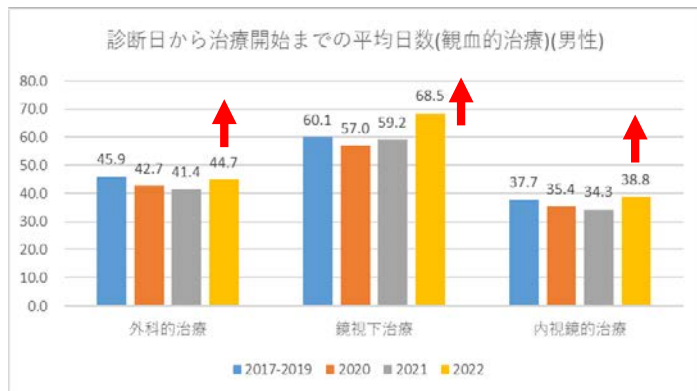
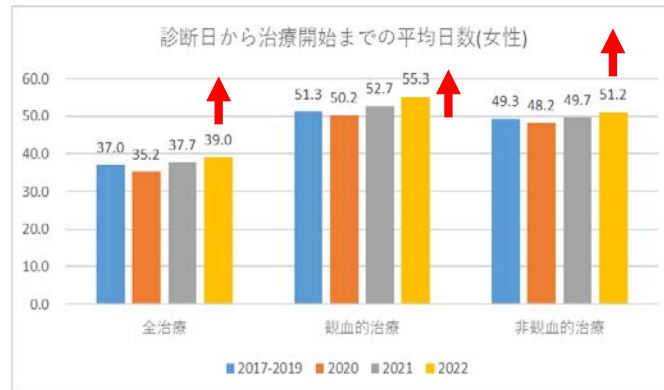
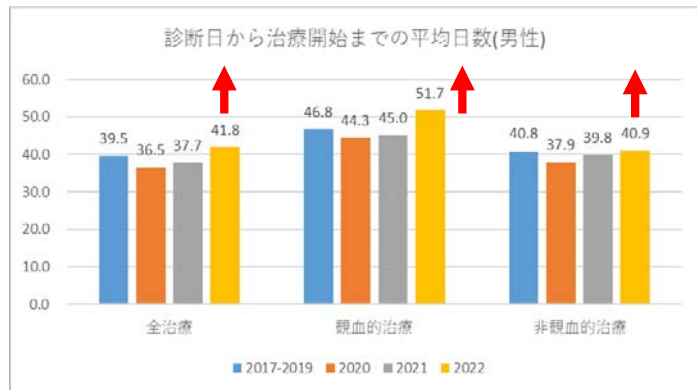
月別に見ると、内分泌療法以外、1年を通して高い値で推移していた。



2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

男性はすべての治療で日数は増加。

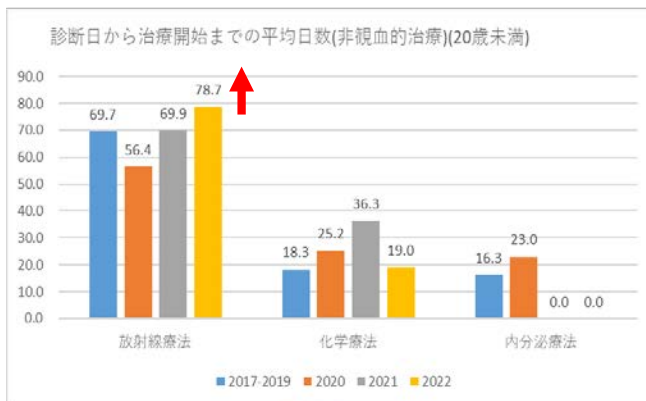
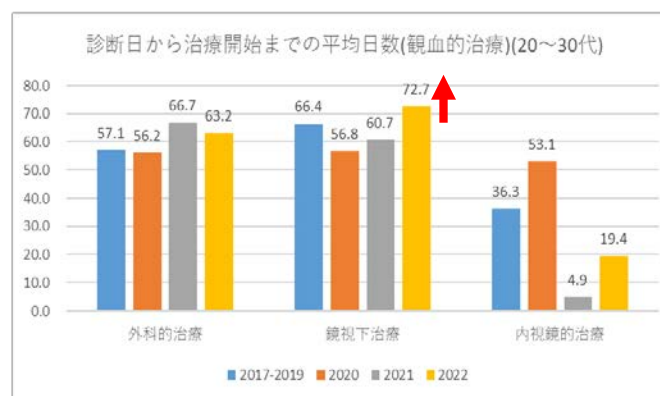
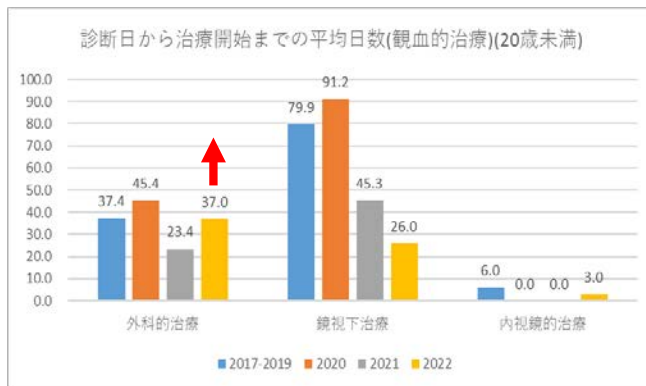
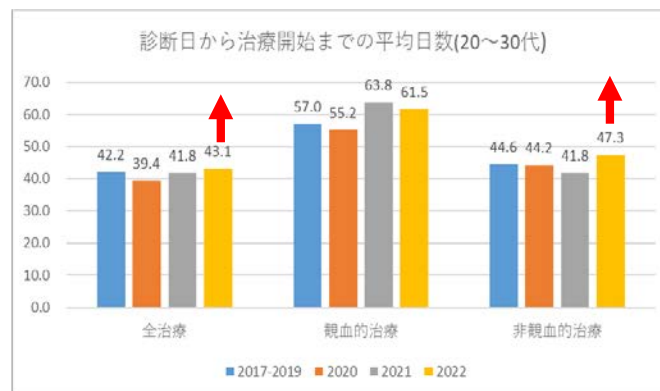
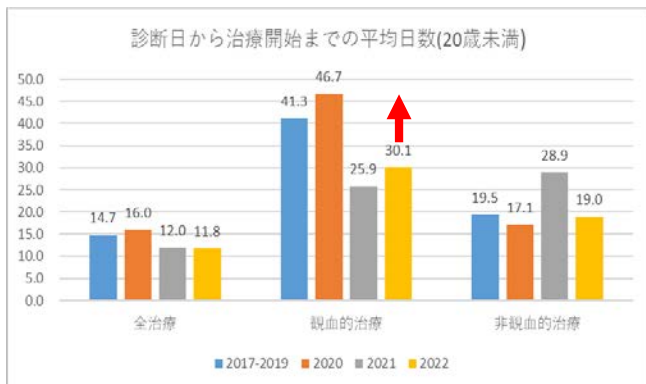
女性は放射線療法と内分泌療法以外で日数が増加。



2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

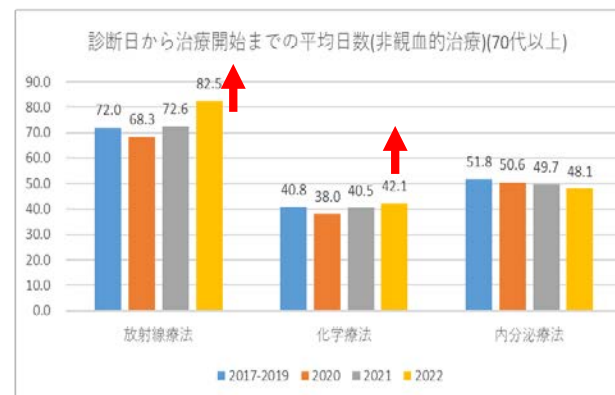
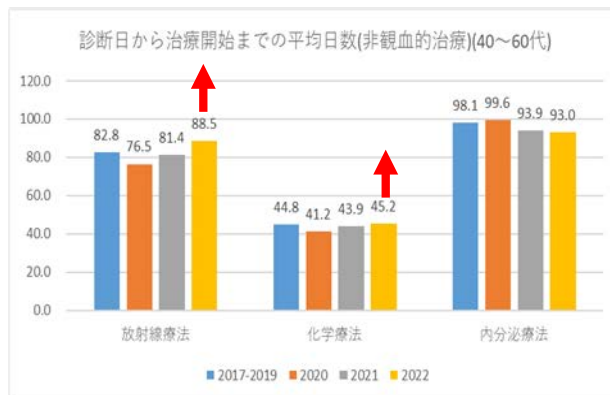
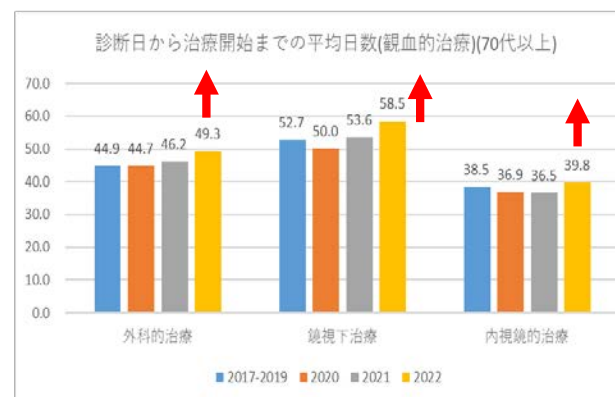
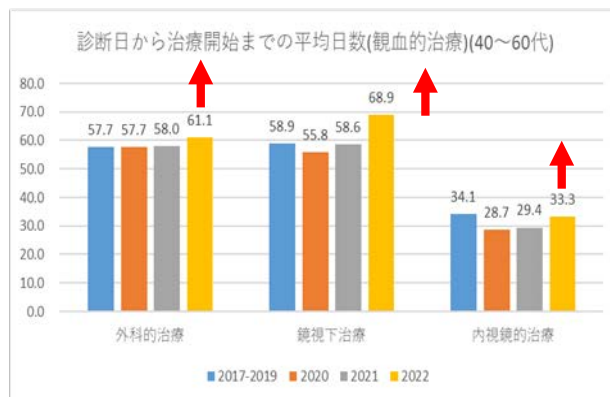
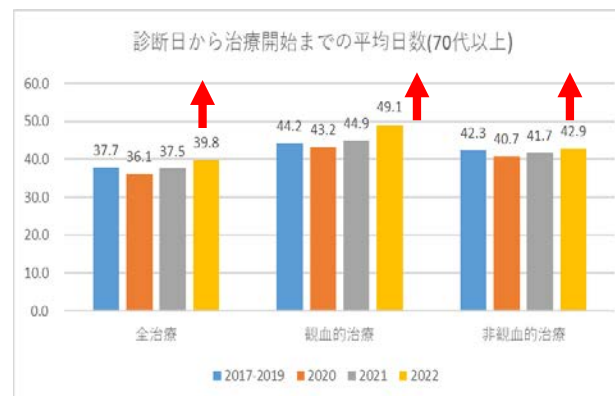
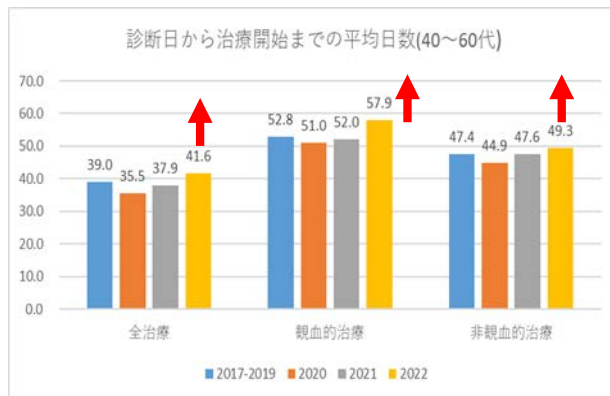
年代別では、20歳未満で、外科的治療、放射線療法で増加。

20～30代では、鏡視下治療、化学療法で増加。



2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

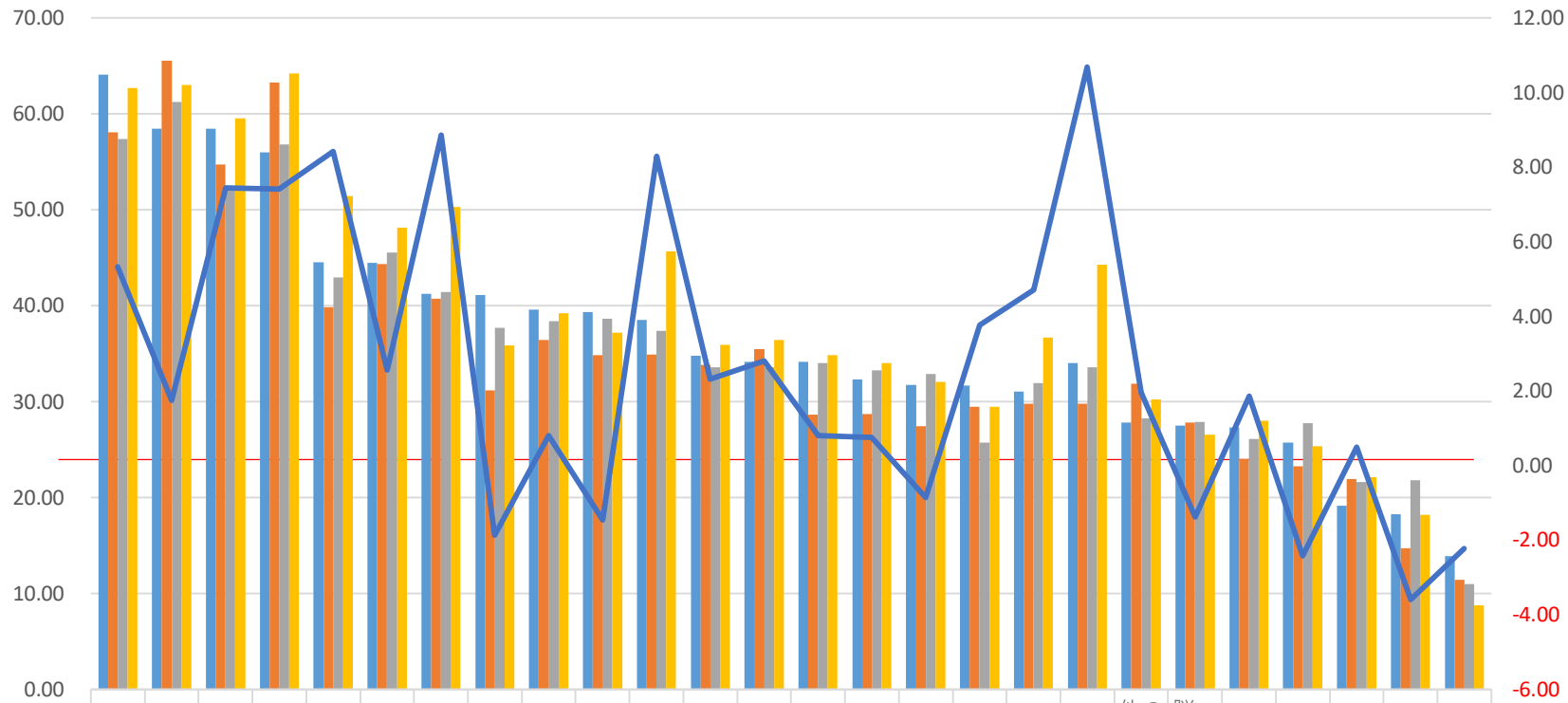
40～60代では、内分泌療法を除くすべての治療で増加。
70代以上でも、内分泌療法を除くすべての治療で増加。



2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

26部位中19部位で2021年よりも増加し、7部位で減少した。

診断日から治療開始までの平均日数(部位別)



まとめ2

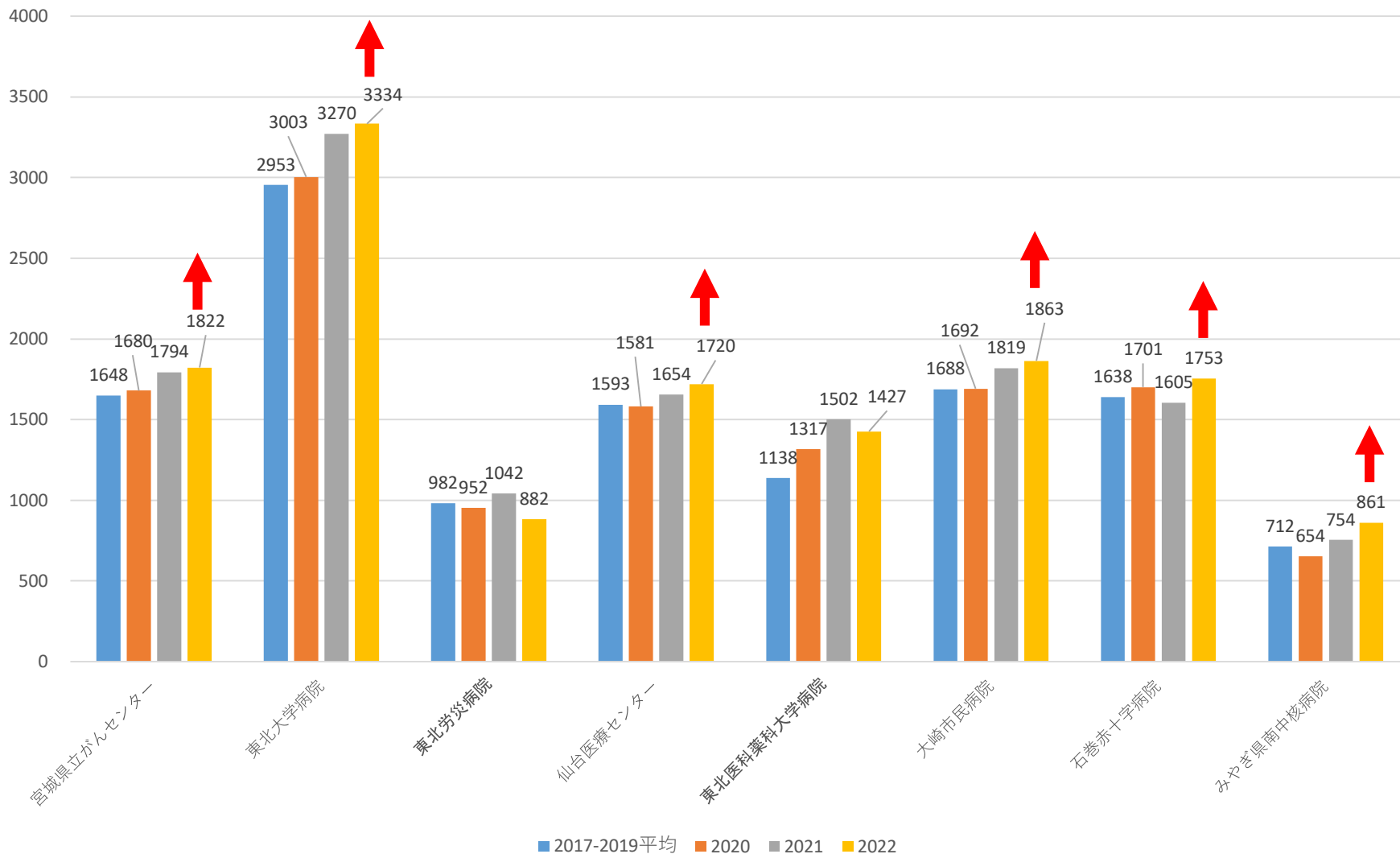
全施設での治療開始までの日数

- 2020年は短縮したが、2021年、2022年は日数が増加に転じ、内分泌療法以外は増加。
- 月別に見ると、内分泌療法以外、1年を通して高い値で推移していた。
- 男女とも、内分泌療法以外で日数は増加。
- 年代別では、各年代で日数が増加している治療が確認され、次のような違いがあった。
 - ▶ 20歳未満…外科的治療、放射線療法で増加
 - ▶ 20～30代…鏡視下治療、化学療法で増加
 - ▶ 40代以上…内分泌療法を除くすべての治療で増加。
- 26部位中19部位で2021年よりも増加し、7部位で減少した。
- 2022年は、治療開始までの日数は増加傾向にあることが確認された。コロナの流行により、がんの治療開始に遅れが出ている可能性が考えられた。

3 施設別・責任症例数

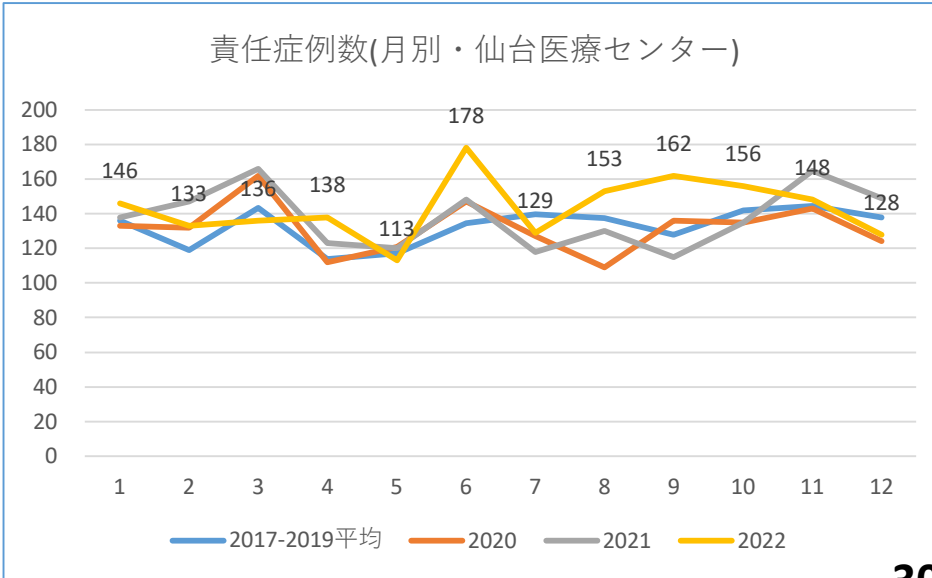
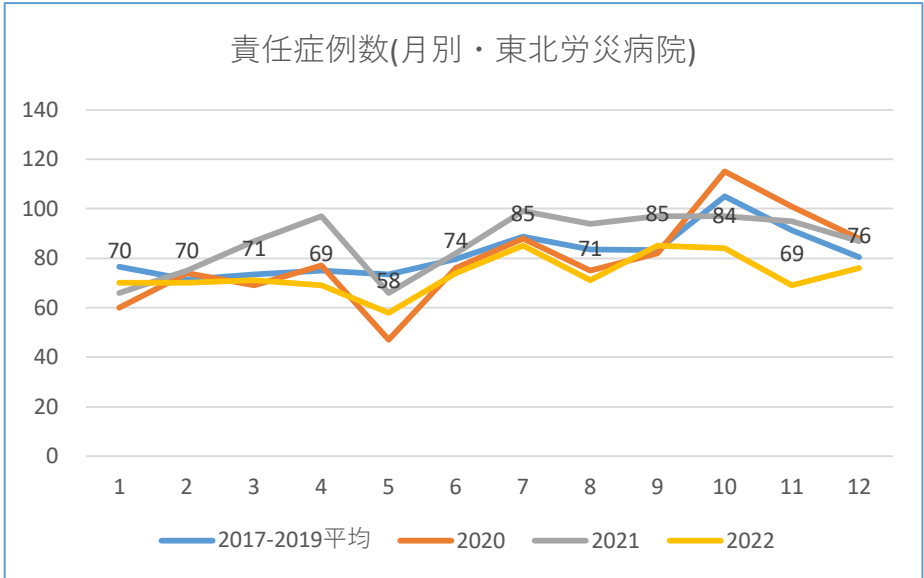
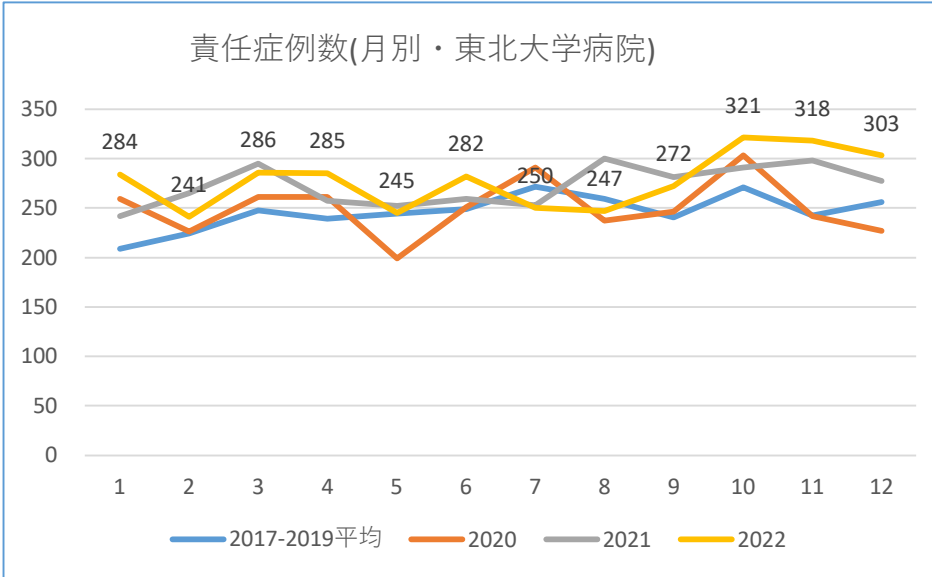
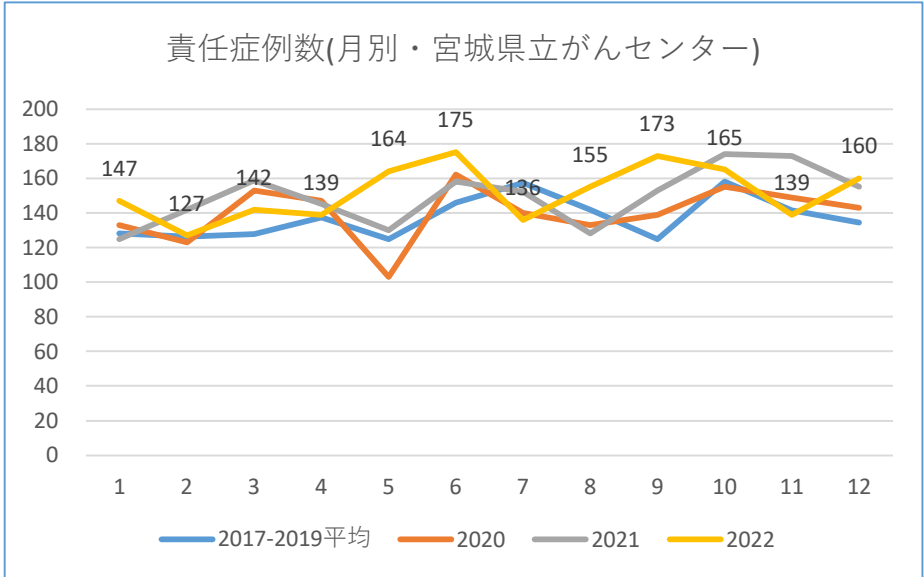
2021年と比較すると、東北労災病院と東北医科薬科大学病院を除く6病院で増加。
増加した6病院では、いずれも2017-2019年よりも増加。

責任症例数



3 施設別・責任症例数

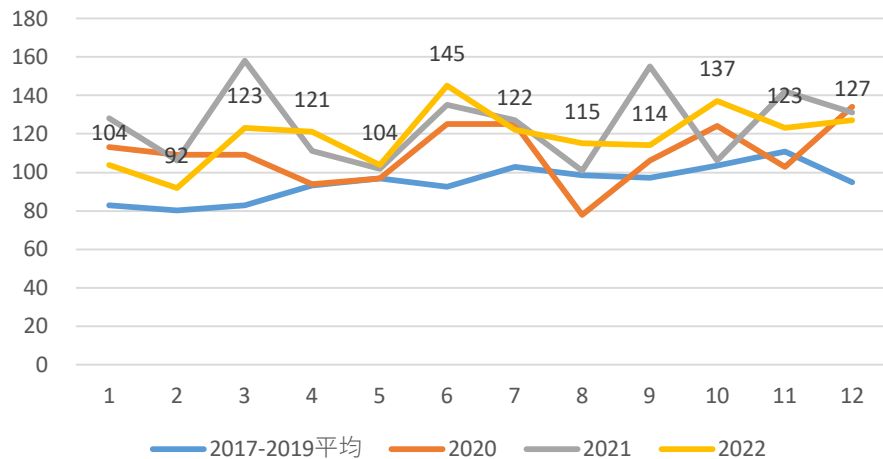
2021年よりも増加した3病院では、これまでよりも多い月があった。
 2021年よりも減少した1病院では、すべての月でこれまでよりも少なかった。



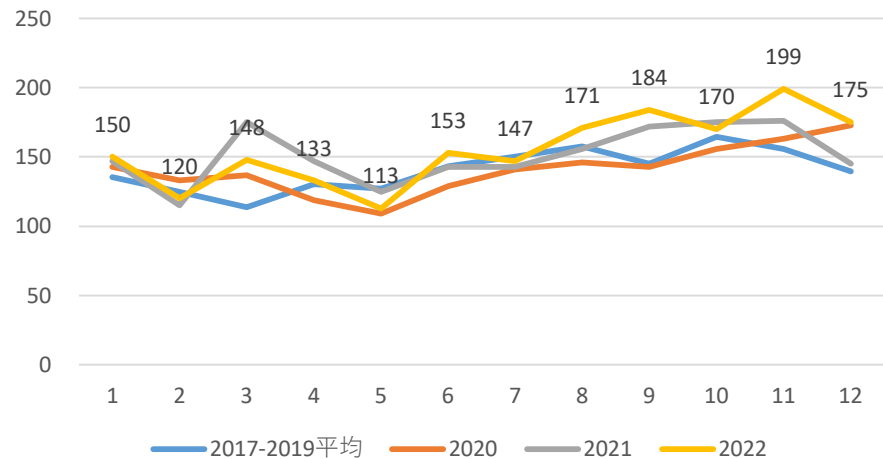
3 施設別・責任症例数

2021年よりも増加した3病院では、これまでよりも多い月があった。
 2021年よりも減少した1病院でも、これまでよりも多い月があった。

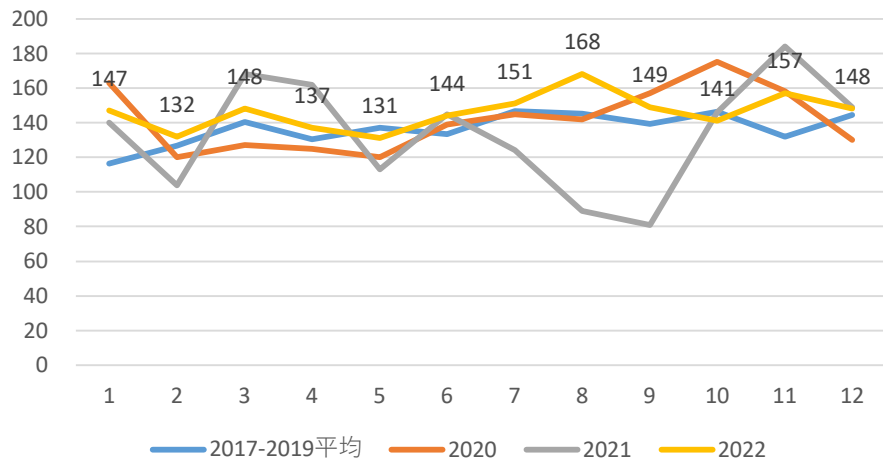
責任症例数(月別・東北医科薬科大学病院)



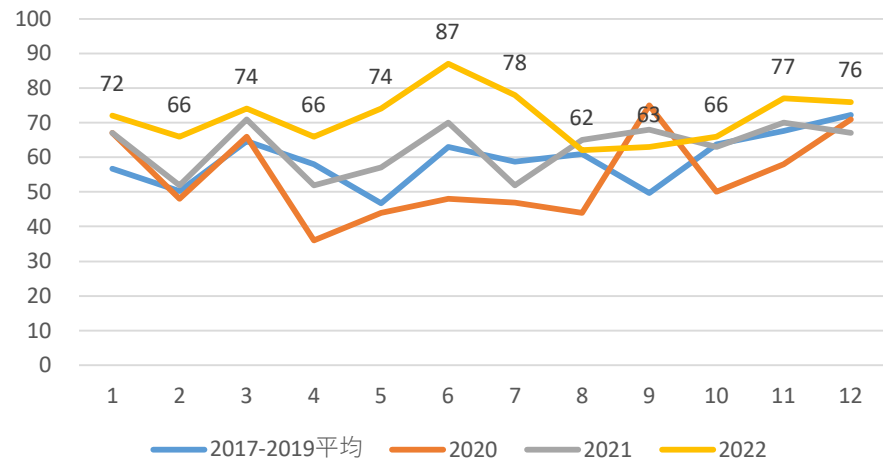
責任症例数(月別・大崎市民病院)



責任症例数(月別・石巻赤十字病院)



責任症例数(月別・みやぎ県南中核病院)

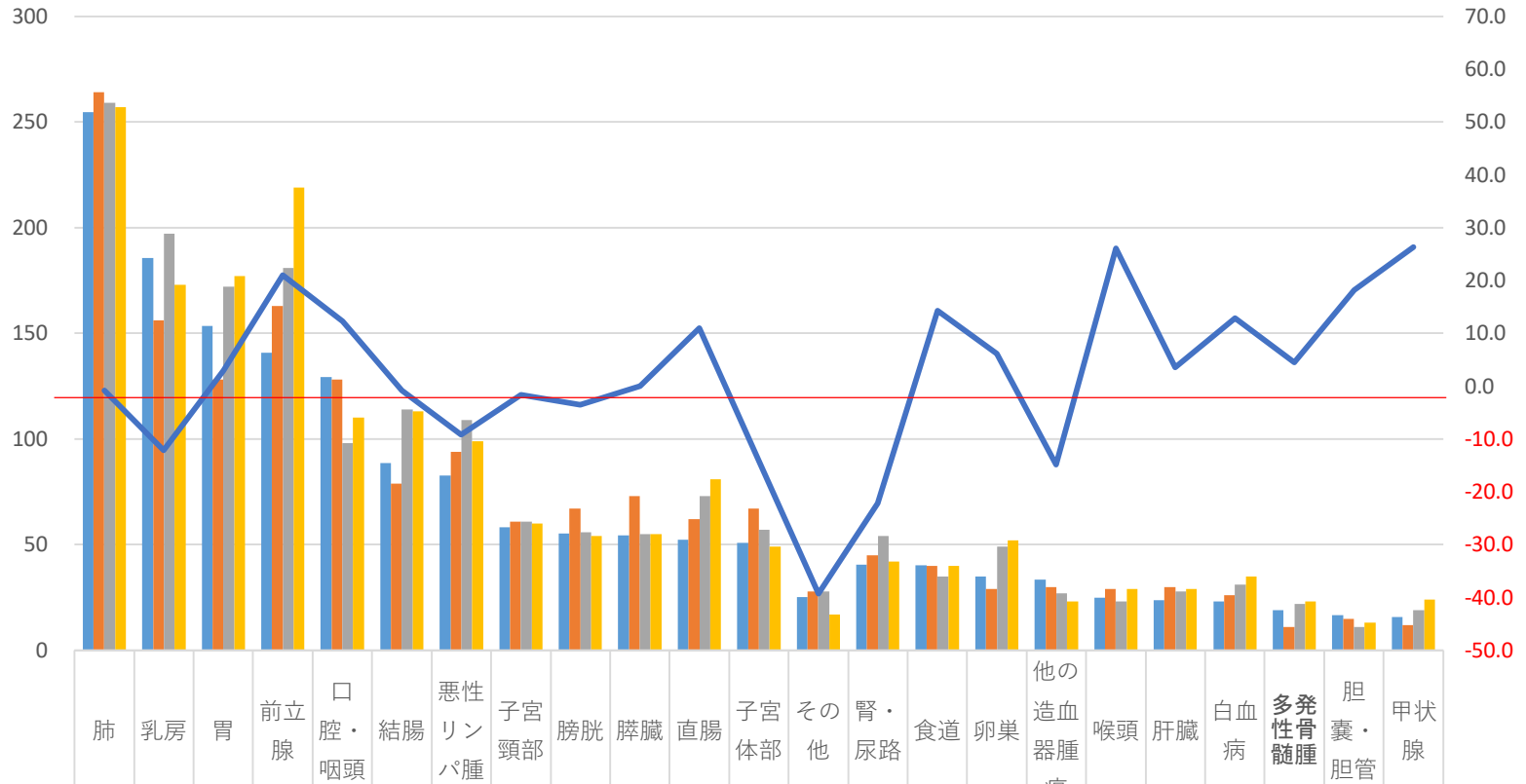


3 施設別・責任症例数

23部位中、12部位で増加し、10部位で減少、1部位で同数。
前立腺が増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(宮城県立がんセンター)



■ 2017-2019平均	255	186	153	141	129	89	83	58	55	54	52	51	25	41	40	35	33	25	24	23	19	17	16
■ 2020	264	156	128	163	128	79	94	61	67	73	62	67	28	45	40	29	30	29	30	26	11	15	12
■ 2021	259	197	172	181	98	114	109	61	56	55	73	57	28	54	35	49	27	23	28	31	22	11	19
■ 2022	257	173	177	219	110	113	99	60	54	55	81	49	17	42	40	52	23	29	29	35	23	13	24
— 2022年増加率	-0.8	-12.2	2.9	21.0	12.2	-0.9	-9.2	-1.6	-3.6	0.0	11.0	-14.0	-39.3	-22.2	14.3	6.1	-14.8	26.1	3.6	12.9	4.5	18.2	26.3

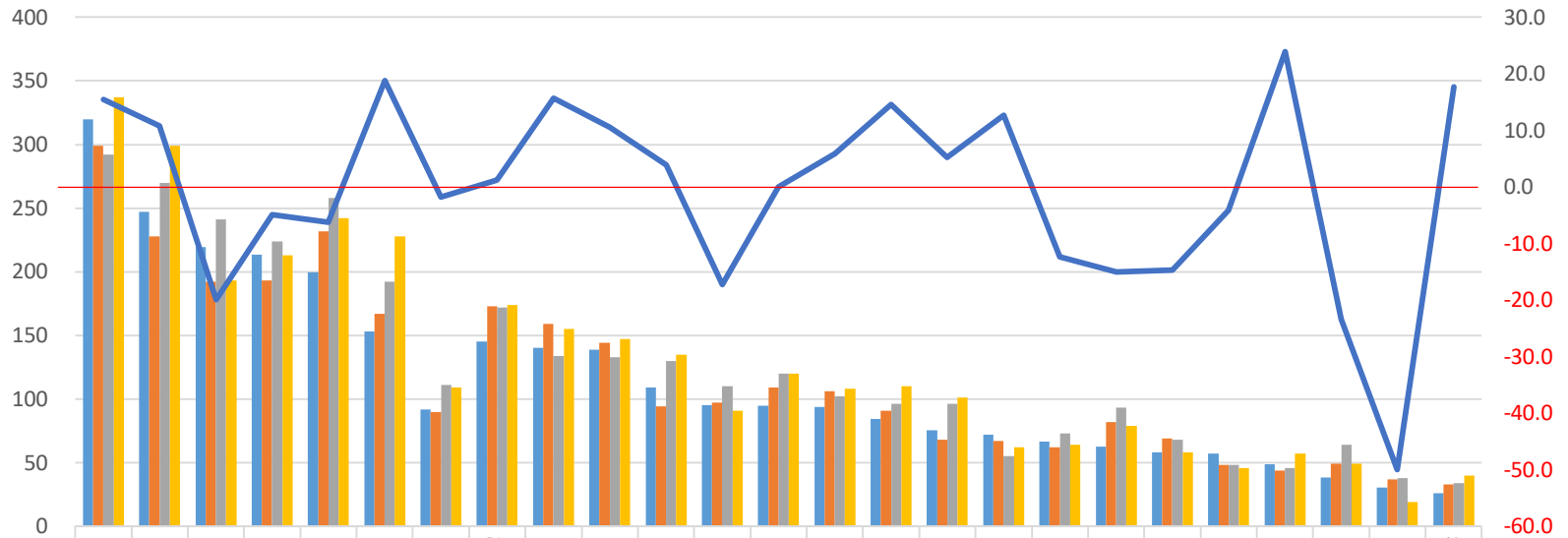


3 施設別・責任症例数

25部位中、13部位で増加、12部位で減少し、1部位で同数。
 乳房、肺、前立腺が増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(東北大学病院)



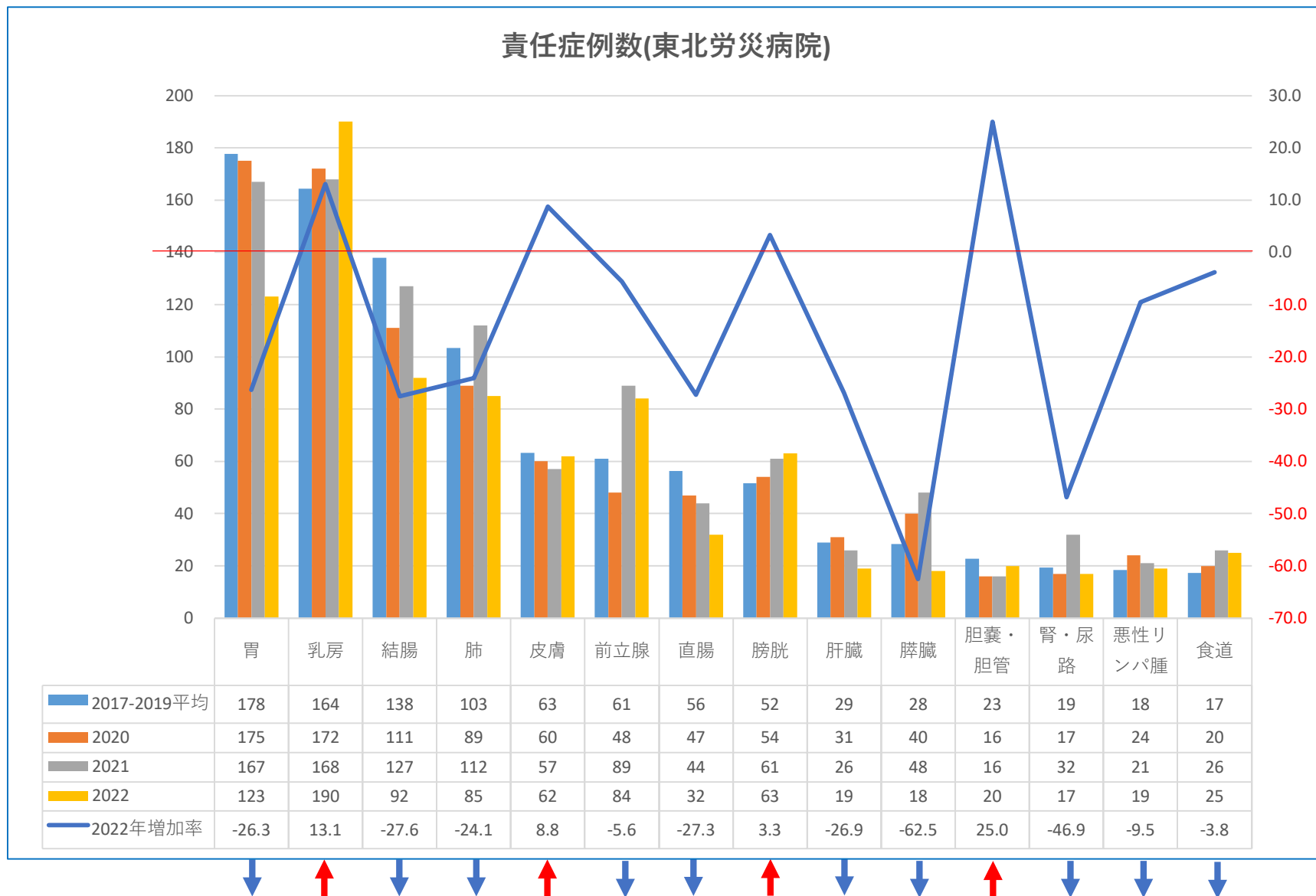
	乳房	肺	胃	食道	口腔・咽頭	前立腺	その他	脳・中枢神経系	皮膚	膵臓	結腸	子宮頸部	子宮体部	悪性リンパ腫	腎・尿路	直腸	卵巣	甲状腺	肝臓	胆嚢・胆管	骨・軟部	膀胱	白血病	喉頭	他の造血器腫瘍
2017-2019平均	320	247	219	214	200	153	92	145	140	139	109	95	95	94	84	76	72	67	63	58	57	49	38	30	26
2020	299	228	192	193	232	167	90	173	159	144	94	97	109	106	91	68	67	62	82	69	48	44	49	37	33
2021	292	270	241	224	258	192	111	172	134	133	130	110	120	102	96	96	55	73	93	68	48	46	64	38	34
2022	337	299	193	213	242	228	109	174	155	147	135	91	120	108	110	101	62	64	79	58	46	57	49	19	40
2022年増加率	15.4	10.7	-19.	-4.9	-6.2	18.8	-1.8	1.2	15.7	10.5	3.8	-17.	0.0	5.9	14.6	5.2	12.7	-12.	-15.	-14.	-4.2	23.9	-23.	-50.	17.6



3 施設別・責任症例数

14部位中、4部位で増加、10部位で減少。
乳房が増加し、胃が減少。

年間10例未満の部位は除外

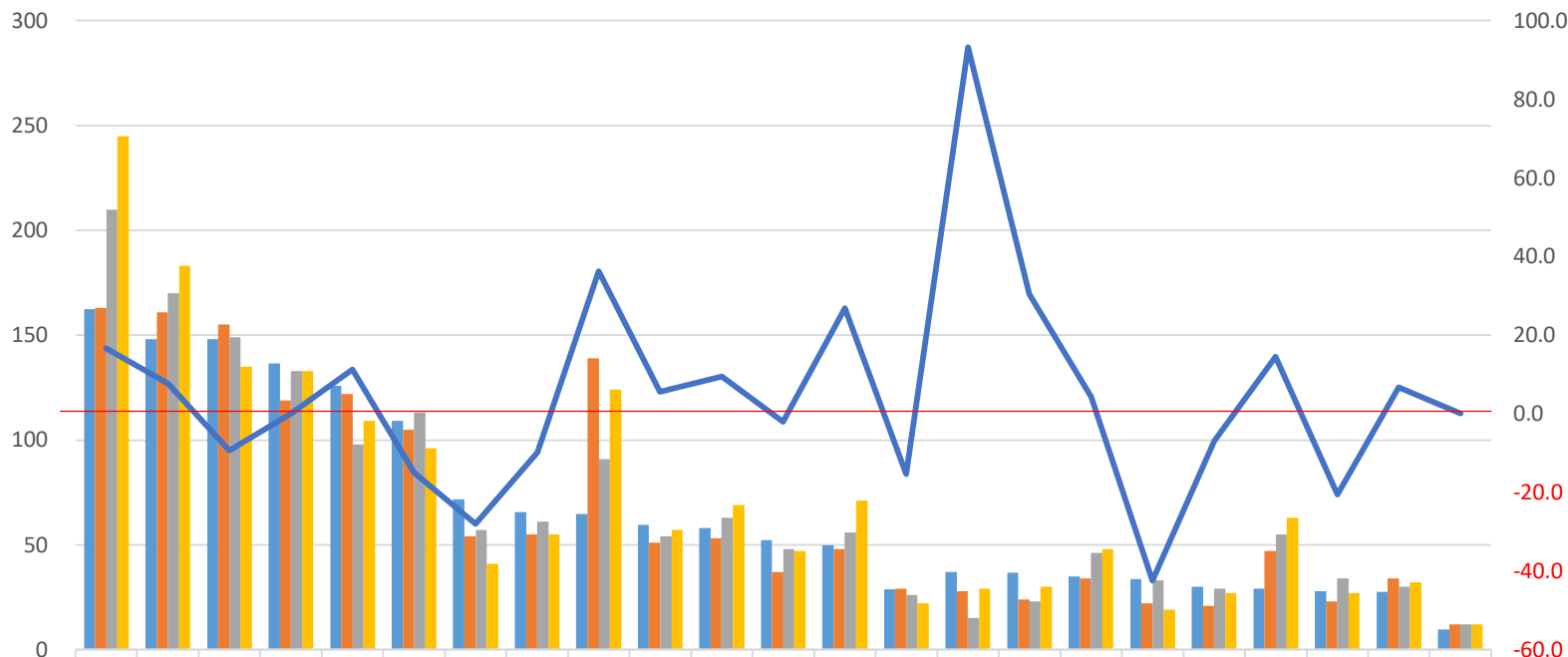


3 施設別・責任症例数

22部位中、12部位で増加し、9部位で減少、2部位で同数。
前立腺、乳房、膀胱が増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(仙台医療センター)



	前立腺	乳房	肺	結腸	胃	悪性リンパ腫	脳・中枢神経系	直腸	子宮頸部	白血病	腎・尿路	他の造血器腫瘍	膀胱	その他	口腔・咽頭	皮膚	脾臓	肝臓	食道	子宮体部	多発性骨髄腫	卵巣	甲状腺
2017-2019	162	148	148	137	126	109	72	66	65	60	58	52	50	29	37	37	35	34	30	29	28	28	10
2020	163	161	155	119	122	105	54	55	139	51	53	37	48	29	28	24	34	22	21	47	23	34	12
2021	210	170	149	133	98	113	57	61	91	54	63	48	56	26	15	23	46	33	29	55	34	30	12
2022	245	183	135	133	109	96	41	55	124	57	69	47	71	22	29	30	48	19	27	63	27	32	12
2022年増加率	16.7	7.6	-9.4	0.0	11.2	-15.0	-28.1	-9.8	36.3	5.6	9.5	-2.1	26.8	-15.4	93.3	30.4	4.3	-42.4	-6.9	14.5	-20.6	6.7	0.0

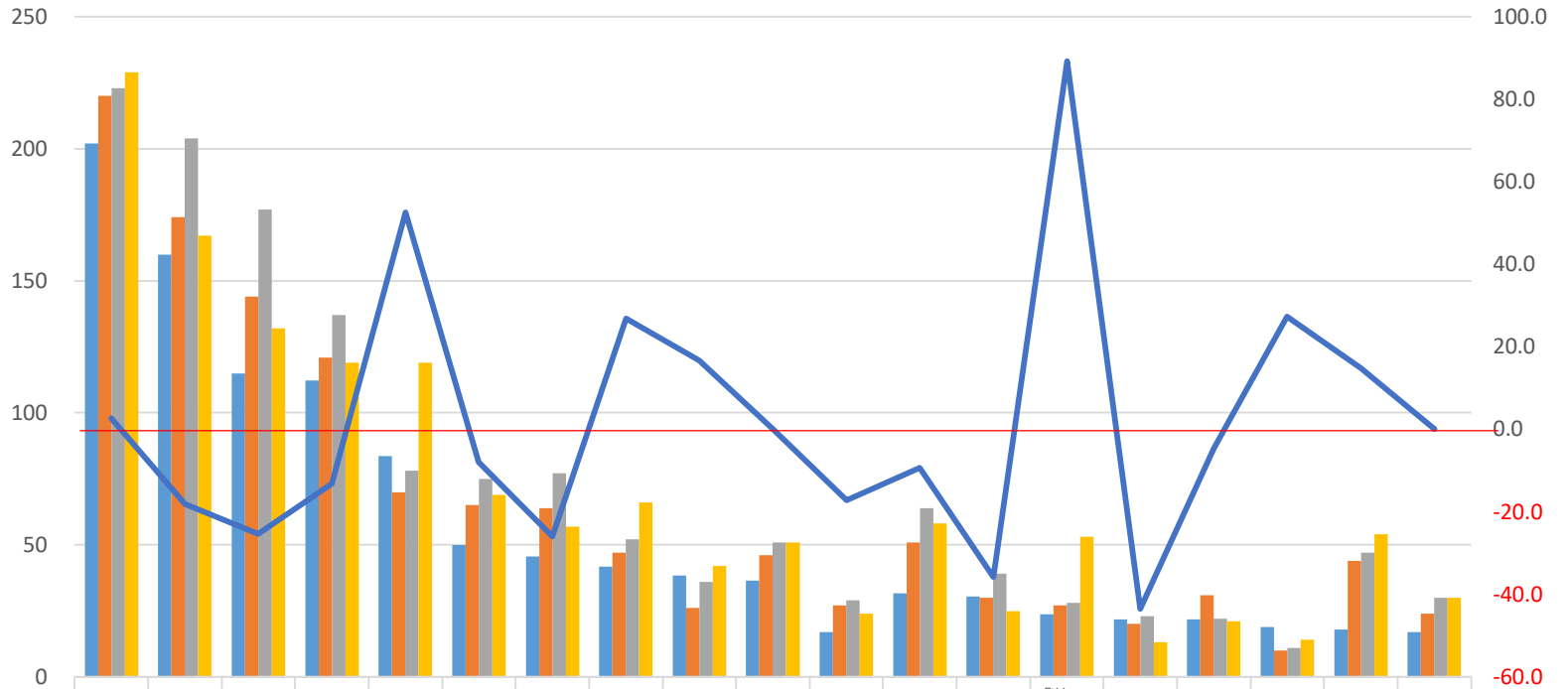


3 施設別・責任症例数

19部位中、7部位で増加し、10部位で減少、2部位で同数。
 肺、前立腺、腎・尿路が増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(東北医科薬科大学病院)

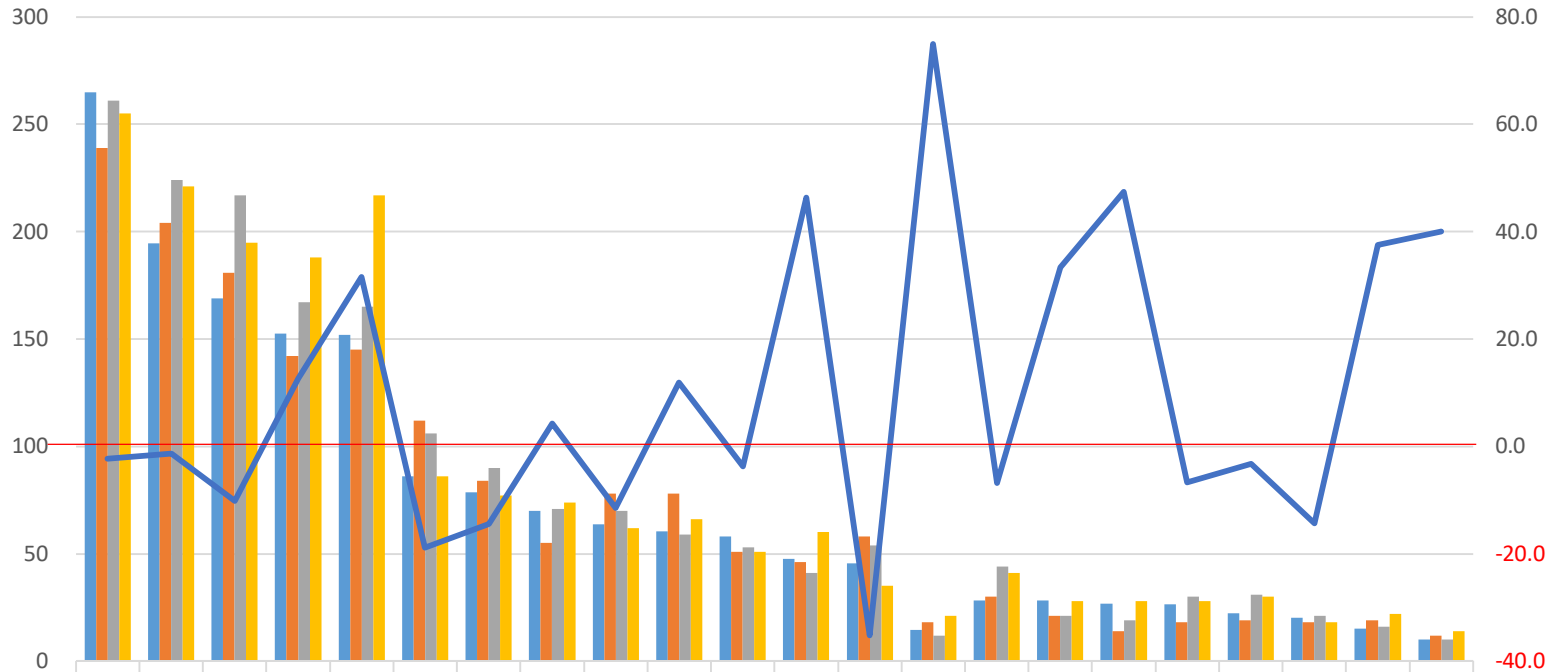


3 施設別・責任症例数

22部位中、10部位で増加、12部位で減少。
乳房、前立腺が増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(大崎市民病院)



2017-2019平均	265	195	169	153	152	86	79	70	64	60	58	48	46	15	28	28	27	26	22	20	15	10
2020	239	204	181	142	145	112	84	55	78	78	51	46	58	18	30	21	14	18	19	18	19	12
2021	261	224	217	167	165	106	90	71	70	59	53	41	54	12	44	21	19	30	31	21	16	10
2022	255	221	195	188	217	86	77	74	62	66	51	60	35	21	41	28	28	28	30	18	22	14
2022年増加率	-2.3	-1.3	-10.1	12.6	31.5	-18.9	-14.4	4.2	-11.4	11.9	-3.8	46.3	-35.2	75.0	-6.8	33.3	47.4	-6.7	-3.2	-14.3	37.5	40.0

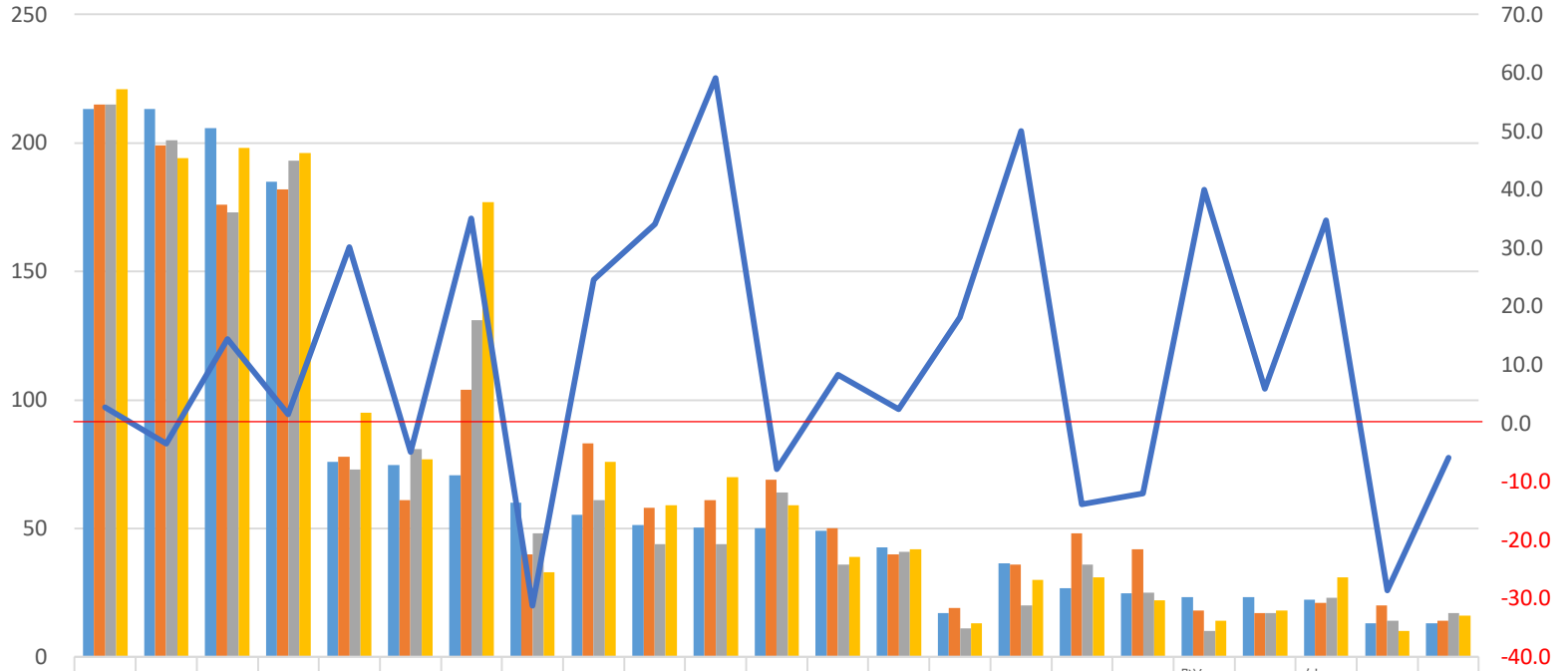


3 施設別・責任症例数

23部位中、15部位で増加、8部位で減少。
乳房、結腸・直腸、前立腺が増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(石巻赤十字病院)



	乳房	肺	胃	結腸	直腸	悪性リンパ腫	前立腺	子宮頸部	皮膚	肝臓	脾臓	膀胱	腎・尿路	食道	その他	胆嚢・胆管	白血病	子宮体部	脳・中枢神経系	卵巣	他の造血器腫瘍	口腔・咽頭	多発性骨髄腫
2017-2019平均	213	213	206	185	76	75	71	60	55	51	50	50	49	43	17	36	27	25	23	23	22	13	13
2020	215	199	176	182	78	61	104	40	83	58	61	69	50	40	19	36	48	42	18	17	21	20	14
2021	215	201	173	193	73	81	131	48	61	44	44	64	36	41	11	20	36	25	10	17	23	14	17
2022	221	194	198	196	95	77	177	33	76	59	70	59	39	42	13	30	31	22	14	18	31	10	16
2022年増加率	2.8	-3.5	14.5	1.6	30.1	-4.9	35.1	-31.3	24.6	34.1	59.1	-7.8	8.3	2.4	18.2	50.0	-13.9	-12.0	40.0	5.9	34.8	-28.6	-5.9

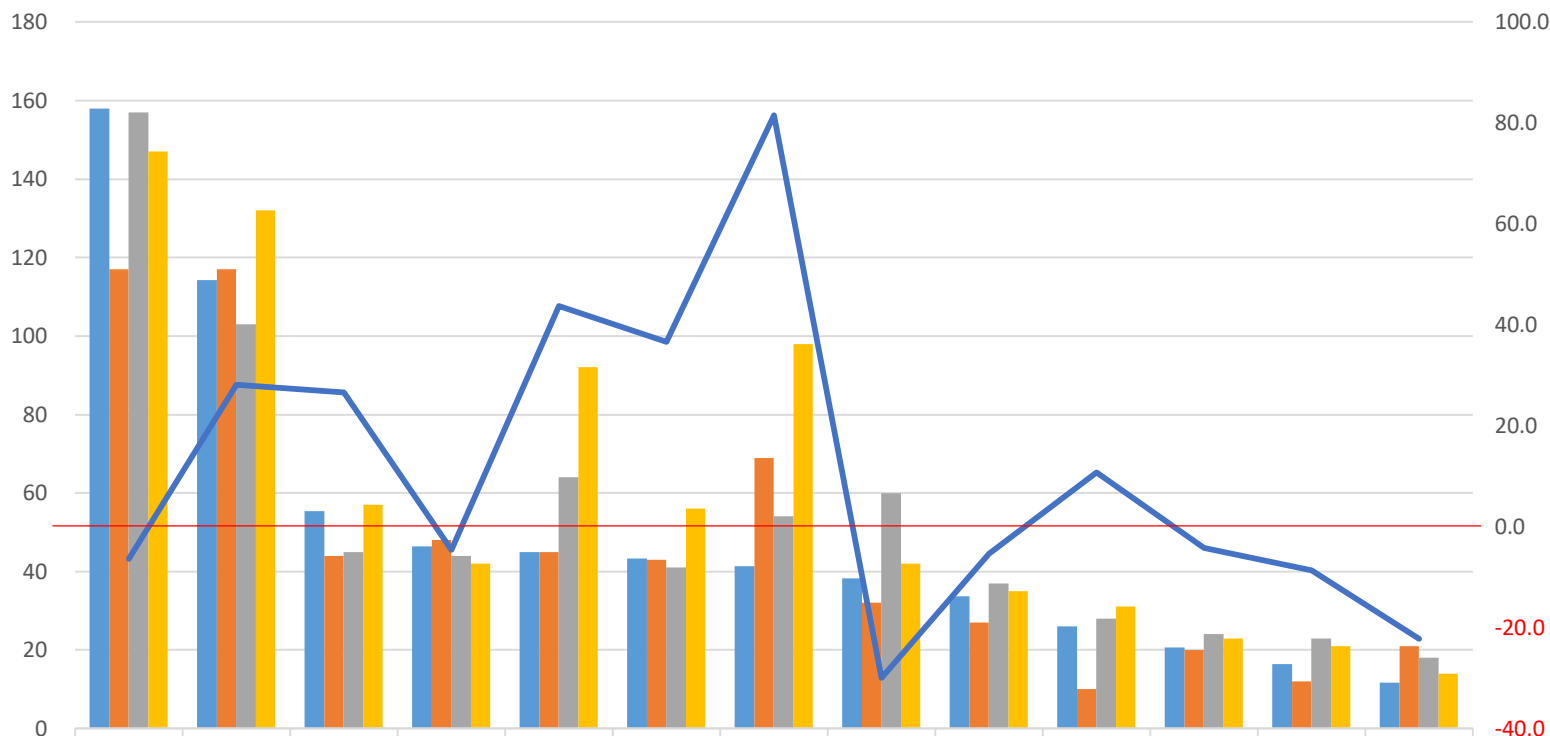


3 施設別・責任症例数

13部位中、6部位で増加し、7部位で減少。
結腸・直腸、肺、乳房で増加。

年間10例未満の部位は除外

責任症例数(みやぎ県南中核病院)



	胃	結腸	直腸	皮膚	肺	前立腺	乳房	膀胱	膵臓	胆嚢・胆管	肝臓	腎・尿路	食道
2017-2019平均	158	114	55	46	45	43	41	38	34	26	21	16	12
2020	117	117	44	48	45	43	69	32	27	10	20	12	21
2021	157	103	45	44	64	41	54	60	37	28	24	23	18
2022	147	132	57	42	92	56	98	42	35	31	23	21	14
2022年増加率	-6.4	28.2	26.7	-4.5	43.8	36.6	81.5	-30.0	-5.4	10.7	-4.2	-8.7	-22.2



責任症例数の2021年増加率（％）

	宮城県立がんセンター	東北大学病院	東北労災病院	仙台医療センター	東北医科薬科大学病院	大崎市民病院	石巻赤十字病院	みやぎ県南中核病院
口腔・咽頭	12.2	-6.2	0.0	93.3	-76.9	40.0	-28.6	75.0
食道	14.3	-4.9	-3.8	-6.9	0.0	-35.2	2.4	-22.2
胃	2.9	-19.9	-26.3	11.2	-18.1	-2.3	14.5	-6.4
結腸	-0.9	3.8	-27.6	0.0	-25.4	-1.3	1.6	28.2
直腸	11.0	5.2	-27.3	-9.8	-8.0	-18.9	30.1	26.7
肝臓	3.6	-15.1	-26.9	-42.4	-35.9	-14.3	34.1	-4.2
胆嚢・胆管	18.2	-14.7	25.0	-59.1	-4.5	-6.7	50.0	10.7
膵臓	0.0	10.5	-62.5	4.3	-26.0	46.3	59.1	-5.4
喉頭	26.1	-50.0	-14.3	37.5	14.3	75.0	-66.7	-
肺	-0.8	10.7	-24.1	-9.4	2.7	-10.1	-3.5	43.8
骨・軟部	142.9	-4.2	-	-	-100.0	-	0.0	100.0
皮膚	-40.0	15.7	8.8	30.4	0.0	-11.4	24.6	-4.5
乳房	-12.2	15.4	13.1	7.6	-13.1	12.6	2.8	81.5
子宮頸部	-1.6	-17.3	-	36.3	16.7	4.2	-31.3	50.0
子宮体部	-14.0	0.0	-	14.5	-43.5	-6.8	-12.0	100.0
卵巣	6.1	12.7	-	6.7	27.3	33.3	5.9	-
前立腺	21.0	18.8	-5.6	16.7	52.6	31.5	35.1	36.6
膀胱	-3.6	23.9	3.3	26.8	-9.4	-14.4	-7.8	-30.0
腎・尿路	-22.2	14.6	-46.9	9.5	26.9	-3.8	8.3	-8.7
脳・中枢神経系	75.0	1.2	20.0	-28.1	89.3	16.7	40.0	28.6
甲状腺	26.3	-12.3	-50.0	0.0	-11.1	37.5	50.0	-50.0
悪性リンパ腫	-9.2	5.9	-9.5	-15.0	14.9	11.9	-4.9	-37.5
多発性骨髄腫	4.5	15.4	-100.0	-20.6	42.9	55.6	-5.9	-
白血病	12.9	-23.4	-	5.6	-7.7	-3.2	-13.9	-
他の造血器腫瘍	-14.8	17.6	0.0	-2.1	-25.9	47.4	34.8	100.0

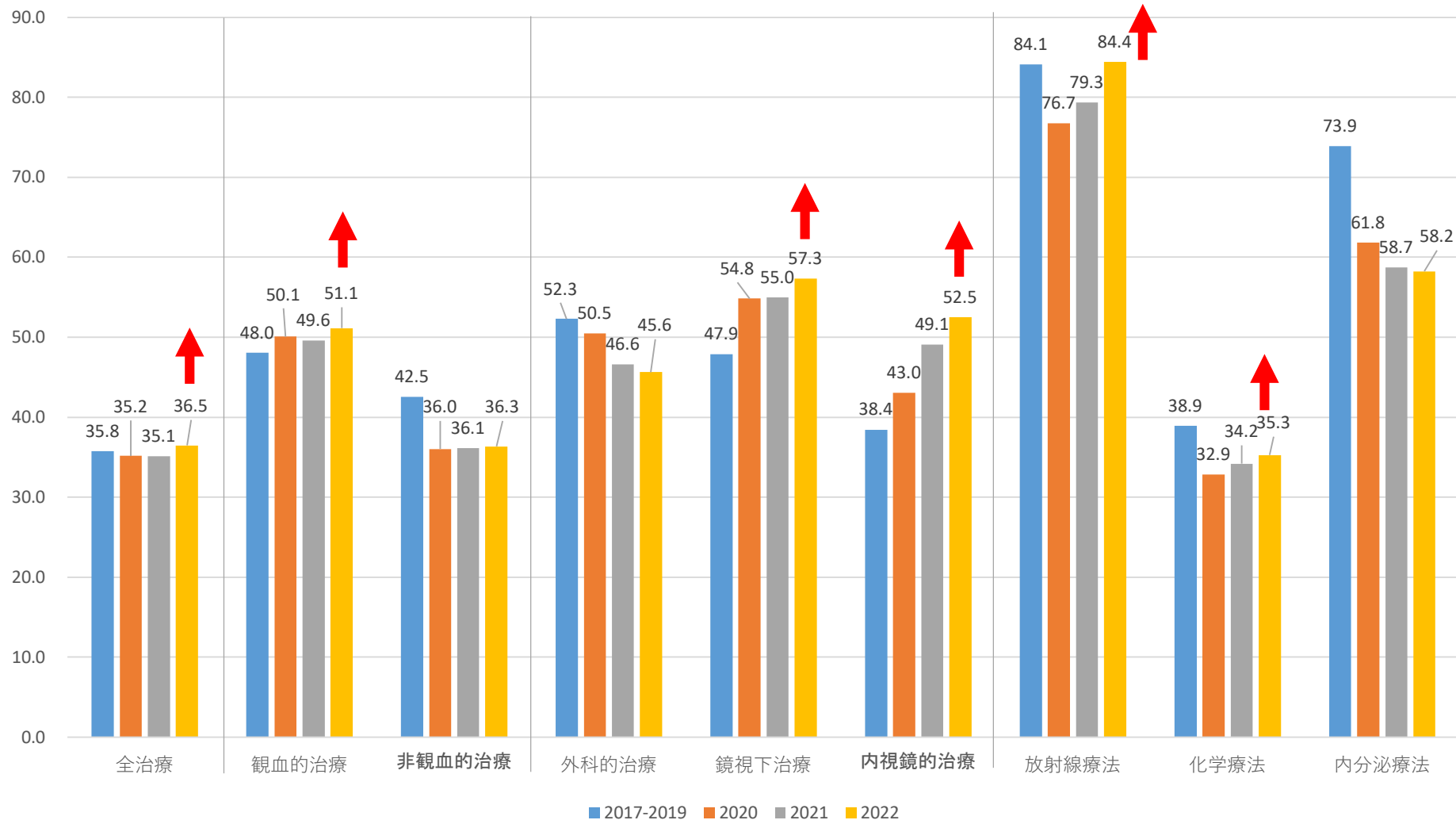
3 施設別・症例数（まとめ）

- 東北労災病院と東北医科薬科大学病院を除く6病院で増加していた。
- 増加した6病院では、いずれも2017-2019年よりも増加した。
- 病院、また、部位により傾向に違いがあった。

4 施設別・診断から治療開始までの日数

全体（全治療）では、2020年、2021年に日数が短縮し、2022年に増加。
鏡視下治療と内視鏡的治療、放射線療法と化学療法で日数が増加。

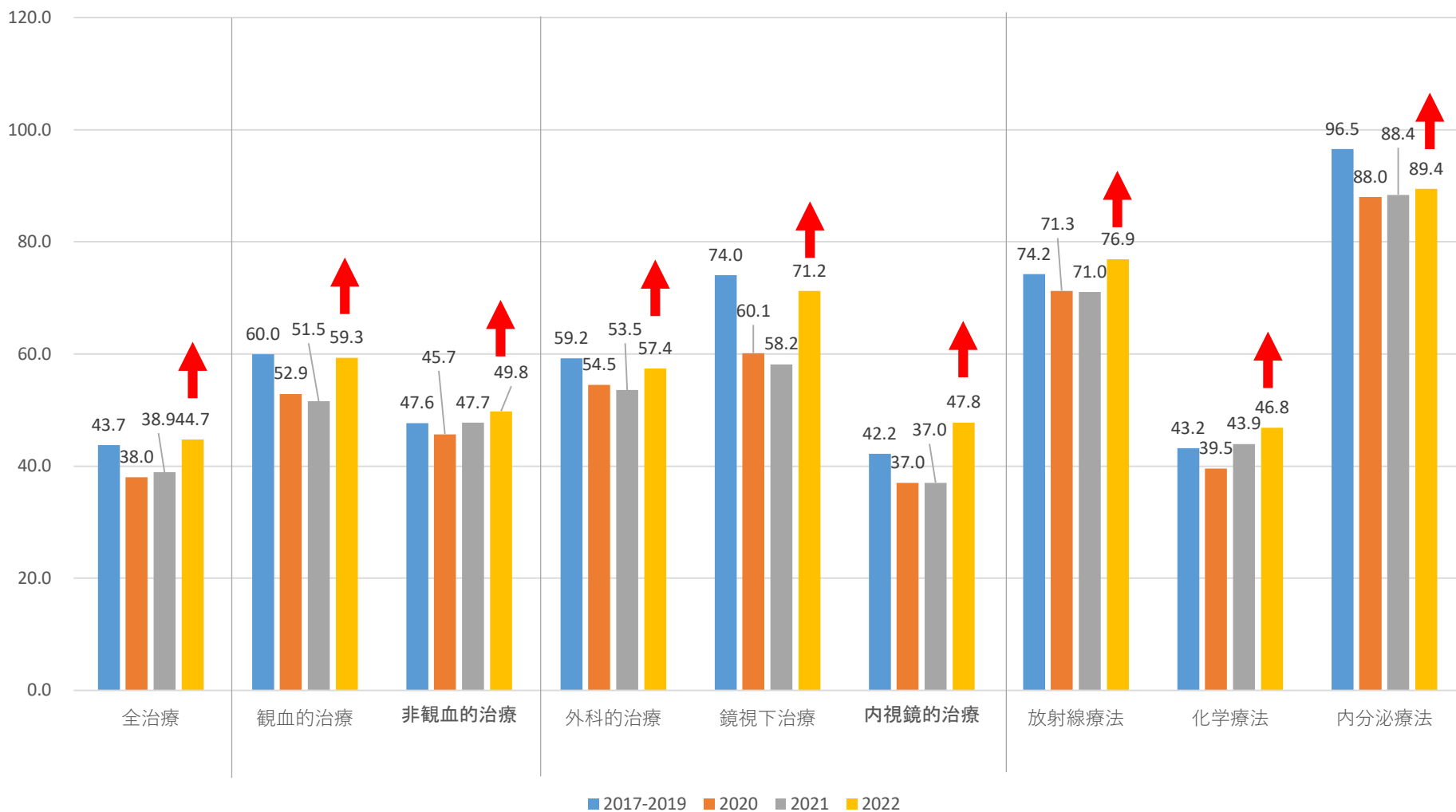
診断日から治療開始までの平均日数(宮城県立がんセンター)



4 施設別・診断から治療開始までの日数

全体（全治療）では、**2021年に続き2022年も日数が増加。**
治療別ではすべての治療で日数が増加。

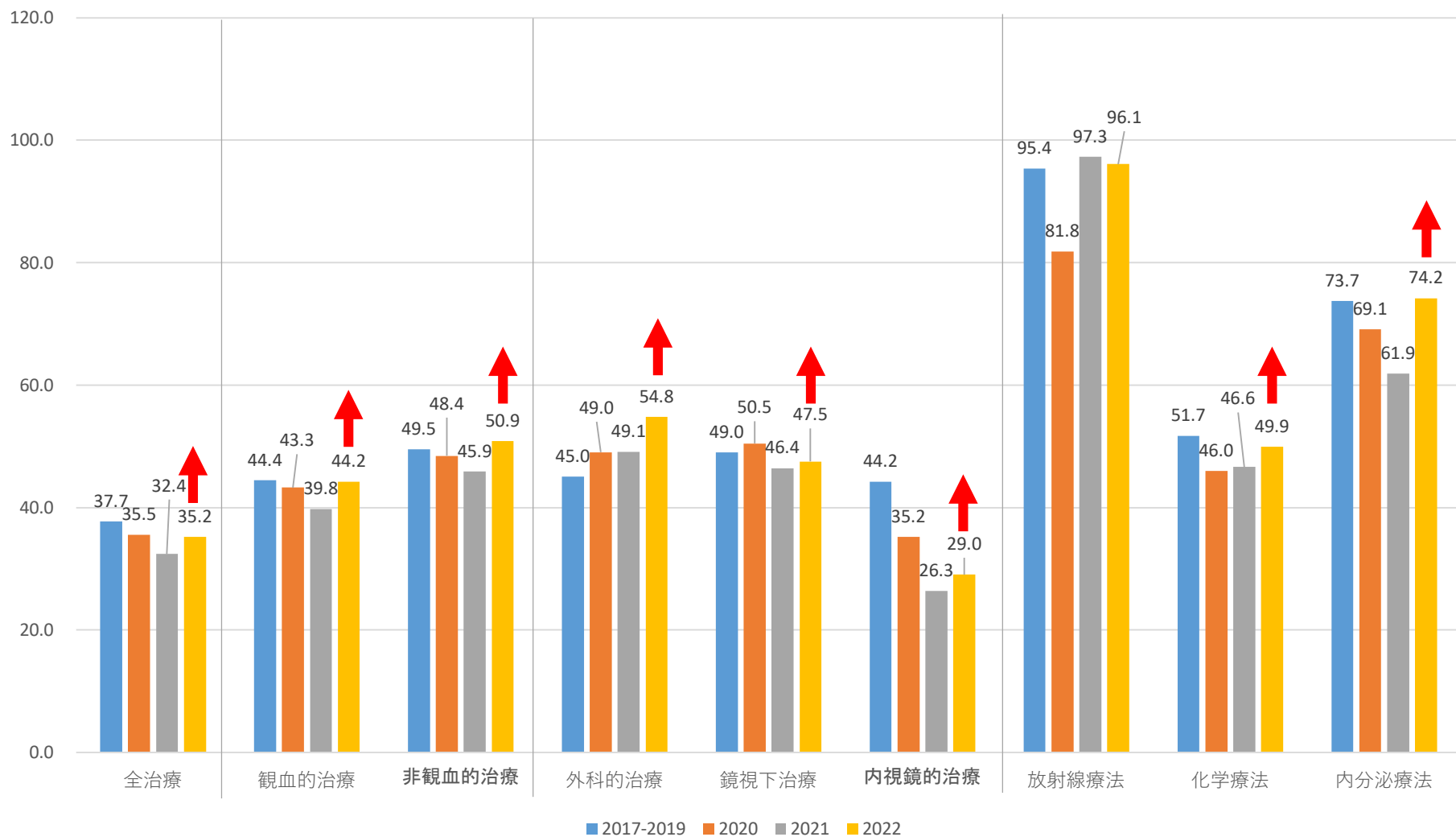
診断日から治療開始までの平均日数(東北大学病院)



4 施設別・診断から治療開始までの日数

全体（全治療）では、2020年、2021年に日数が短縮し、2022年は増加に転じた。
放射線療法以外のすべての治療で日数が増加。

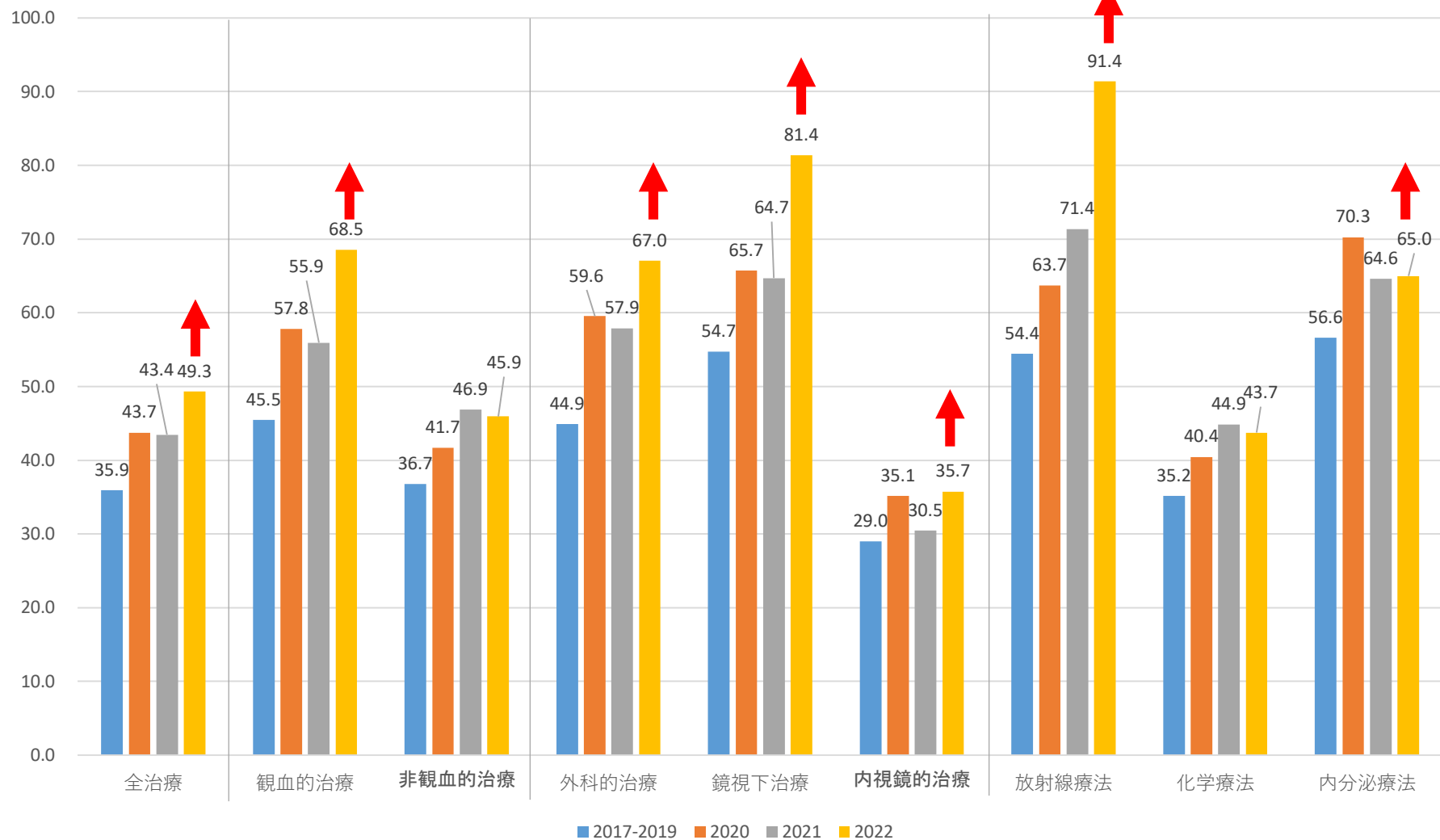
診断日から治療開始までの平均日数(東北労災病院)



4 施設別・診断から治療開始までの日数

全体（全治療）では、2020年に日数が増加し、2022年になり再び増加。
化学療法以外のすべての治療で日数が増加。

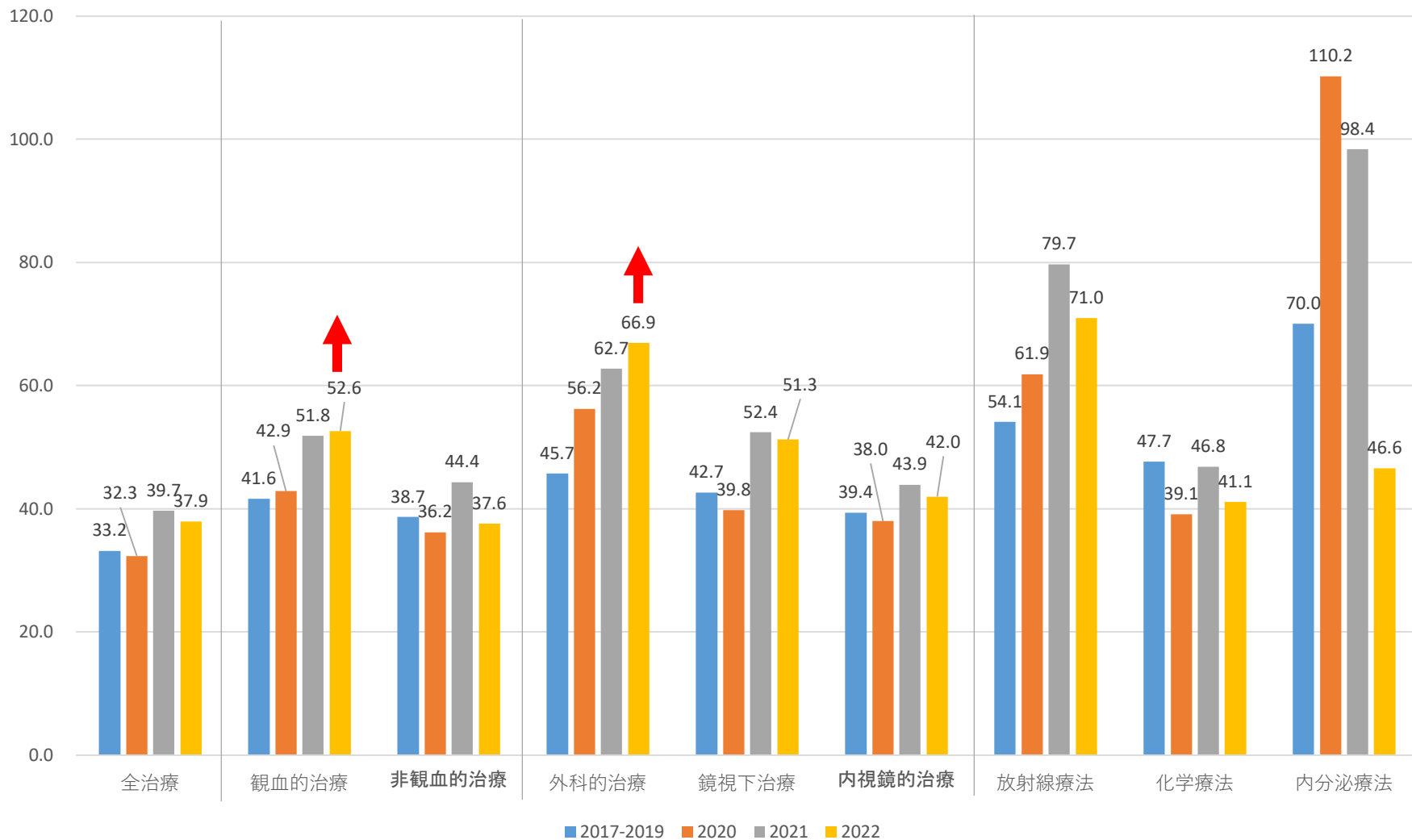
診断日から治療開始までの平均日数(仙台医療センター)



4 施設別・診断から治療開始までの日数

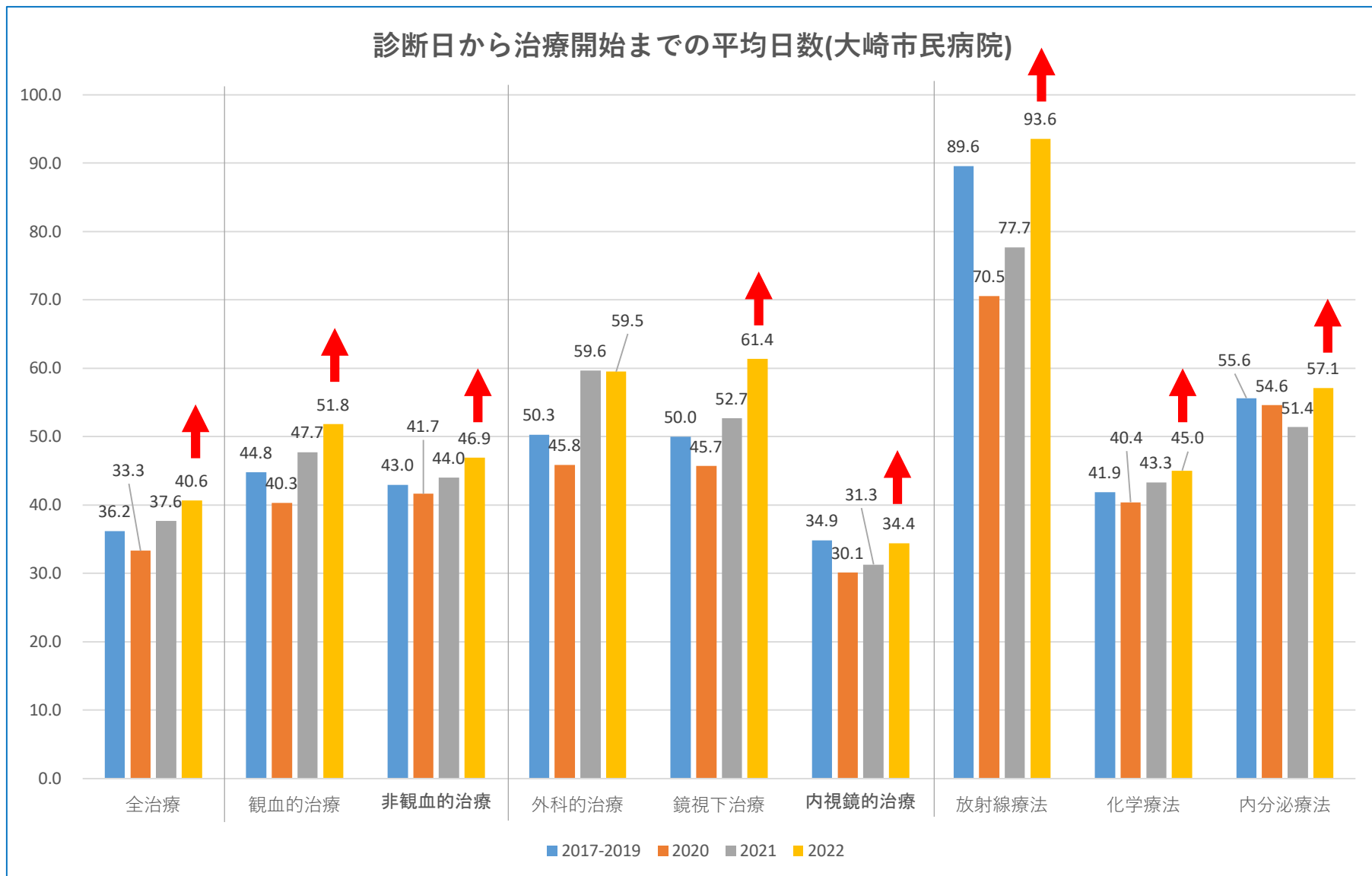
全体（全治療）では、**2021年に日数が増加したが、2022年では短縮。**
外科的治療以外のすべての治療で日数が短縮。

診断日から治療開始までの平均日数(東北医科薬科大学病院)



4 施設別・診断から治療開始までの日数

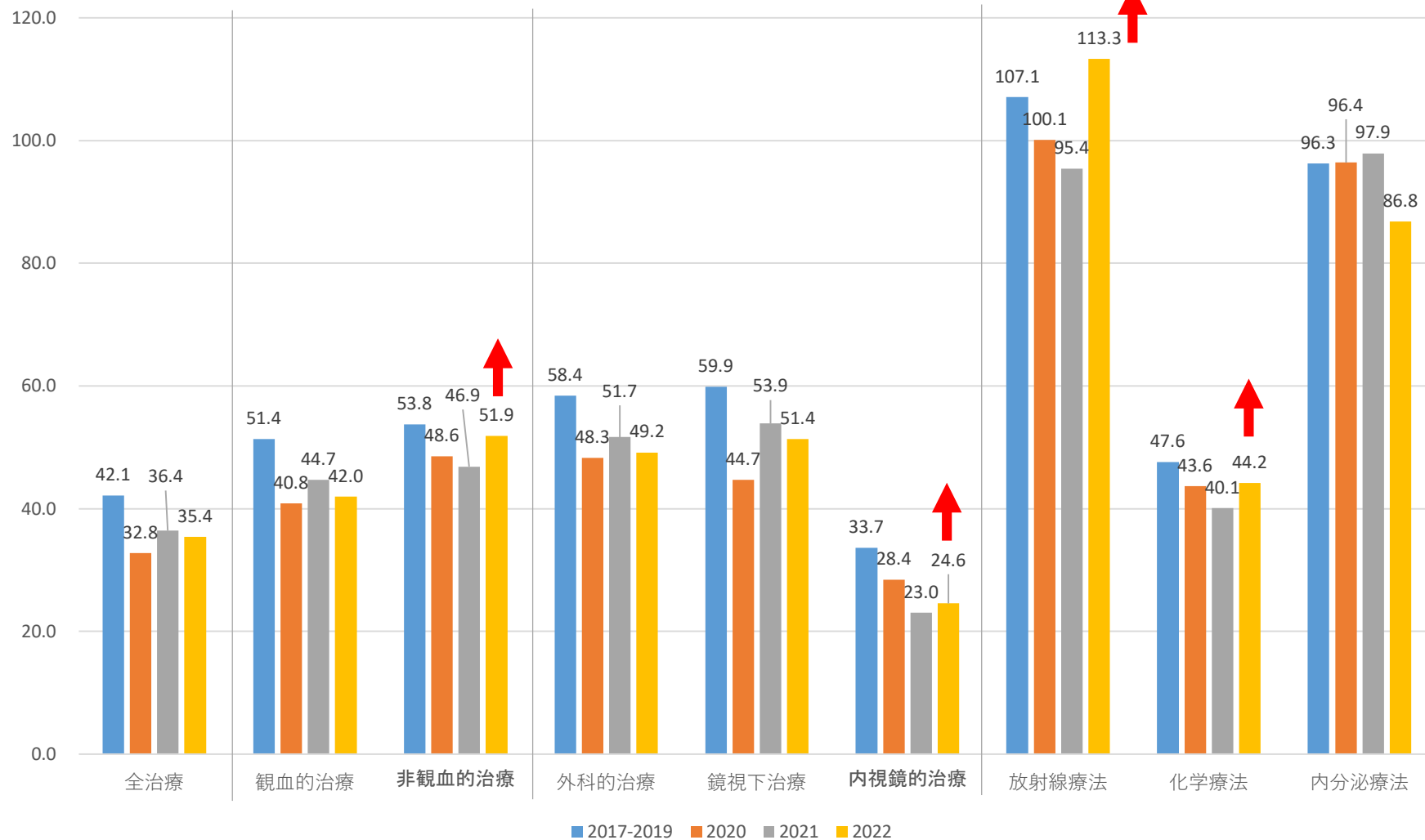
全体（全治療）では、2020年に日数が短縮したが、2021年、2022年は増加に転じた。
外科的治療以外、すべての治療で日数が延長。



4 施設別・診断から治療開始までの日数

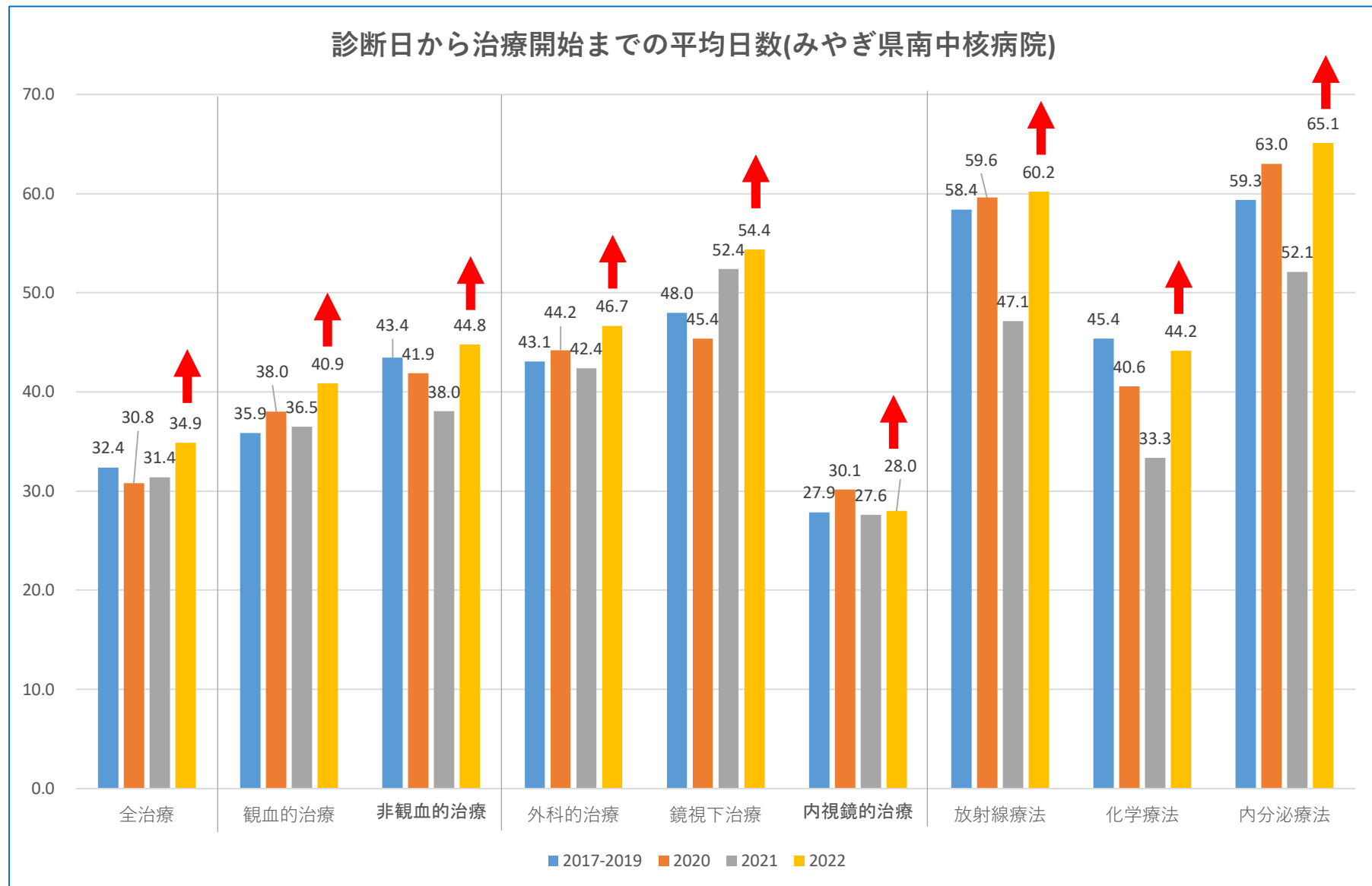
全体（全治療）では、2021年に増加したが、2022年に短縮。
内視鏡的治療、放射線療法、化学療法で日数が増加。

診断日から治療開始までの平均日数(石巻赤十字病院)



4 施設別・診断から治療開始までの日数

全体（全治療）では、2020年に日数が短縮したが、2021年、2022年は増加に転じた。
治療別にはすべての治療で日数が増加。



4 施設別・日数（まとめ）

- 全施設で見ると、2022年は日数が増加し、内分泌療法のみ短縮していたが、施設別に見ると、治療内容によって傾向は異なっていた。

	全治療	観血的治療	非観血的治療	外科的治療	鏡視下治療	内視鏡的治療	放射線療法	化学療法	内分泌療法
全施設合計	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓
宮城県立がんセンター	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↓
東北大学病院	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
東北労災病院	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑
仙台医療センター	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↓	↑
東北医科薬科大学病院	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓
大崎市民病院	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑
石巻赤十字病院	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↓
みやぎ県南中核病院	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

2021年と比較して、増加（↑）、減少（↓）、同じ（→）